

人づくり

令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進
施策の将来の目標像	様々な啓発や教育機会の充実によって、市民の人権意識が着実に高まり、誰もが互いに尊重しあい、自らの個性と能力が発揮でき、世界の恒久平和を志向する人材が数多く育つ社会となっています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H25年度)	目標値 (R6年度)
	「日常生活の中で、人権が大切にされている」と思う人の割合	41.6%	45.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 人権啓発の推進	主管部局・所属	生活環境部 人権男女共同参画課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	市民一人ひとりが人権尊重の意識を高め、生き生きと暮らせる社会の実現	現状	多様な人権侵害が発生している	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	市民が人権について正しく理解することが必要	身近な問題として考えることができる啓発等の実施	中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
		R5	R6	R7(参考値)		
(7) 「差別をなくすために、全ての人が自分の問題として考える必要がある」と考える市民の割合(市民満足度調査)	73.3 (R1)	82.5	85.0	85.0	85.0 (R6)	%
(4)	()				()	
(4)	()				()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R5年度		6,574				
		5,443				
R6年度		5,626				
		5,434				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R5 当初予算額	R6 当初予算額
				R5 決算額	R6 決算額
1-1	3・1・6 人権啓発推進事業	人権男女共同参画課	1.80	6,574	5,626
合計			1.80	6,574	5,626

8-1 事業費内訳(道庁「R5年度」予算額「R6年度」決算額)		
8-2 経費内訳(道庁「R5年度」予算額「R6年度」決算額)		
9 前記の合計		
10 事業費	人権の推進・啓発・啓蒙 の推進は、社会のニーズ 等を踏まえ適切に行わ れる。	<h1>決算時記載</h1>
11 経費	法人費(給与、奨励金等) を確保し、適切な行政 的支援を行うための 。	
12 経費	他の経費面でも影響は ある。	
10 事業費		
11 経費		
12 経費		

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進	① 人権啓発の推進

事業の概要					
戦略	1 啓発等の実施	予算	5,626 千円	前年度	6,574 千円
事務事業	1-1 人権啓発推進事業	予算	5,626 千円	前年度	6,574 千円

内容

1-1_人権啓発の推進

① 人権啓発の推進 (3,799 千円 (前年度 5,039 千円))

ア 啓発活動の実施 (うち 3,049 千円)

(ア) 人権フェスティバルひがしひろしまの開催 (うち 2,059 千円)

市民の人権問題に対する正しい理解と認識を深め、人権尊重意識の高揚を図ることを目的として開催する。小学校による「人権の花運動」の活動発表、中学生の人権作文の表彰、人権講演会、人権擁護委員による人権相談室などを予定。

(イ) 人権教育・人権啓発指導者研修会の開催 (うち 990 千円)

人権教育・人権啓発の「指導者」としての役割を担う公務員、教職員、団体等の関係者を対象に、人権問題に関する新しい情報や問題解決に向けて必要な知識などを提供する研修会を開催する。併せてオンラインでの配信も実施予定。



人権フェスティバル 2023 ひがしひろしま (R5.12.2)



令和5年度人権教育・人権啓発指導者研修会 (R5.10.25)

イ 人権擁護事業への補助 (うち 750 千円)

東広島竹原人権擁護委員協議会が実施する啓発活動や運営に係る事務費を補助。

事業の概要

② 人権課題への取組み（600 千円（前年度 1,535 千円））

ア 犯罪被害者等の支援（うち 600 千円）

犯罪被害者又はその遺族に対して、犯罪被害者等見舞金を支給する。

支給額：遺族見舞金 30 万円

傷害見舞金 10 万円

イ パートナーシップ宣誓制度の実施

一方または双方が性的マイノリティである 2 人が、互いをパートナーとし、日常生活において相互に協力し合うことを約した関係（パートナーシップ）である旨の宣誓書を提出し、市が受領証等を交付するもの。

令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進
施策の将来の目標像	様々な啓発や教育機会の充実によって、市民の人権意識が着実に高まり、誰もが互いに尊重しあい、自らの個性と能力が発揮でき、世界の恒久平和を志向する人材が数多く育つ社会となっています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H25年度)	目標値 (R6年度)
	「日常生活の中で、人権が大切にされている」と思う人の割合	41.6%	45.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 男女共同参画の推進	主管部局・所属	生活環境部 人権男女共同参画課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	性別にかかわらず個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現	現状	固定的な性的役割分担意識が根付いている	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	性別による固定的な役割分担の「思い込み」が根強くあり、個人が能力を発揮できていない	性別による無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に気づく啓発等の実施	中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7(参考値)		
(7) 「地域社会において男女の地位は平等だ」と考える市民の割合(市民満足度調査)	42.9 (R1)		48.5	50.0	50.0	50.0 (R6)	%
(4)	()	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率				()	
(4)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R5年度			9,755			
			9,754			
R6年度			10,865			
			10,864			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R5 当初予算額	R6 当初予算額
				R5 決算額	R6 決算額
1-1	3・1・6 男女共同参画推進事業	人権男女共同参画課	1.40	9,755	10,865
合計			1.40	9,755	10,865

F 事務事業費の分析（経費）【R5年度当初予算額】 【R6年度決算額】		
F-1 R5の取組経費の分析（R5年度当初予算額）		
F-2 R6の取組経費の分析		
F-3 取組の経費		
F-3-1 人権男女共同参画推進事業の経費（R5年度当初予算額） F-3-2 人権男女共同参画推進事業の経費（R6年度決算額） F-3-3 人権男女共同参画推進事業の経費（R5年度当初予算額） F-3-4 人権男女共同参画推進事業の経費（R6年度決算額）		
F-4 経費の内訳		
F-4-1 人権男女共同参画推進事業の経費の内訳（R5年度当初予算額）		
F-4-2 人権男女共同参画推進事業の経費の内訳（R6年度決算額）		
F-4-3 人権男女共同参画推進事業の経費の内訳（R5年度当初予算額）		
F-4-4 人権男女共同参画推進事業の経費の内訳（R6年度決算額）		
F-4-5 人権男女共同参画推進事業の経費の内訳（R5年度当初予算額）		
F-4-6 人権男女共同参画推進事業の経費の内訳（R6年度決算額）		
F-4-7 人権男女共同参画推進事業の経費の内訳（R5年度当初予算額）		
F-4-8 人権男女共同参画推進事業の経費の内訳（R6年度決算額）		
F-4-9 人権男女共同参画推進事業の経費の内訳（R5年度当初予算額）		
F-4-10 人権男女共同参画推進事業の経費の内訳（R6年度決算額）		

決算時記載

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進	② 男女共同参画の推進

事業の概要				
戦略	1 啓発等の実施	予算	10,865 千円	前年度 9,755 千円
事務事業	1-1 男女共同参画推進事業	予算	10,865 千円	前年度 9,755 千円

内容

1-1_男女共同参画の推進

- ① エスポワールの運営 (3,627 千円 (前年度 3,513 千円))
 - 男女共同参画に係る各種情報の収集、提供や電話相談での対応、講座開催。
 - ア 情報収集・提供 (うち 207 千円)
 - (ア) 男女共同参画に関わる図書等の収集、閲覧、貸出及び紹介
 - (イ) エスポワール通信の発行
 - 毎月 1 回配信 (年間 12 回)
 - イ 活動支援
 - (ア) 団体等への活動スペースの提供
 - 男女共同参画に関する活動をしている団体やグループに活動スペースを提供。
- ② 啓発活動講座等の開催 (332 千円 (前年度 349 千円))
 - ア おしゃべりカフェ (うち 241 千円)
 - 目的：生活設計やキャリアプランなどの講座を実施し、男女共同参画社会の実現につなげようとするもの。
 - 対象：育休中、子育て世代の人



おしゃべりカフェ「最強で最幸な家庭作り」 R5.9.21



出張おしゃべりカフェ (黒瀬児童館) R5.6.30

事業の概要

イ 男女共同参画の人形劇（うち 91 千円）

内容：男女共同参画の啓発を推進するパンセの会によるジェンダーをテーマとした人形劇。子どもと一緒に楽しみながら、家族でジェンダーについて考えるもの。

対象：小学生とその保護者



川上いさいきこどもクラブ R5. 7. 26



板城西いさいきこどもクラブ R5. 8. 2

③ 男女共同参画推進審議会（416 千円（前年度 208 千円））

④ 第 3 次東広島市男女共同参画推進計画策定業務（後期実施計画）

（6, 490 千円（前年度 5, 685 千円））

本計画の期間は、令和 2 年度から令和 11 年度までの 10 年間。前期計画期間の最終年度である令和 6 年度にその成果や課題、令和 5 年度に実施した市民・事業所意識調査の結果を踏まえ、次の 5 年間を後期計画期間とする実施計画を策定するもの。

令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進
施策の将来の目標像	様々な啓発や教育機会の充実によって、市民の人権意識が着実に高まり、誰もが互いに尊重しあい、自らの個性と能力が発揮でき、世界の恒久平和を志向する人材が数多く育つ社会となっています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H25年度)	目標値 (R6年度)
	「日常生活の中で、人権が大切にされている」と思う人の割合	41.6%	45.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	③ 平和を希求する人材の育成	主管部局・所属	総務部	総務課
関係部局・所属				

3 目指す姿と戦略

目指す姿	戦争の愚かさや原爆の悲惨さを理解し、平和への願いを語る人材の輩出	現状	啓発や教育機会の不足により、平和を志向する人材が育成できていない。	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
戦争の悲惨さや核兵器の残虐さを知る機会が減少している。	平和に関する啓発の場の確保	高	1	
	平和に関する資料(情報)の確保	低	2	

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7(参考値)		
(7) 市内小中学校における被爆体験証言講話または巡回原爆展の実施率の倍増(過去開催累積)	15 (H30)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	70	100	100	100 (R6)	%
(4) 市内高等学校における被爆体験証言講話または巡回原爆展の実施率の倍増(過去開催累積)	0 (R1)		80	100	100	100 (R6)	%
(7) 平和学習バスに参加し、平和の尊さを学び、発信した児童・生徒の数	45 (R3)		46	46	92	46 (R6)	人

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	5年度		1,651			
			1,651			
	6年度		1,741			
			1,741			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R5 当初予算額	R6 当初予算額
				R5 決算額	R6 決算額
1-1	2.1.12 平和行政推進事業	総務課	0.30	1,047	1,087
2-1	2.1.12 平和資料保存事業	総務課	0.10	604	654
合計			0.40	1,651	1,741

10 総合計画					
11 総合計画の推進					
12 総合計画の推進					
13 総合計画の推進					
14 総合計画の推進					
15 総合計画の推進					
16 総合計画の推進					
17 総合計画の推進					
18 総合計画の推進					
19 総合計画の推進					
20 総合計画の推進					
21 総合計画の推進					
22 総合計画の推進					
23 総合計画の推進					
24 総合計画の推進					
25 総合計画の推進					
26 総合計画の推進					
27 総合計画の推進					
28 総合計画の推進					
29 総合計画の推進					
30 総合計画の推進					
31 総合計画の推進					
32 総合計画の推進					
33 総合計画の推進					
34 総合計画の推進					
35 総合計画の推進					
36 総合計画の推進					
37 総合計画の推進					
38 総合計画の推進					
39 総合計画の推進					
40 総合計画の推進					
41 総合計画の推進					
42 総合計画の推進					
43 総合計画の推進					
44 総合計画の推進					
45 総合計画の推進					
46 総合計画の推進					
47 総合計画の推進					
48 総合計画の推進					
49 総合計画の推進					
50 総合計画の推進					
51 総合計画の推進					
52 総合計画の推進					
53 総合計画の推進					
54 総合計画の推進					
55 総合計画の推進					
56 総合計画の推進					
57 総合計画の推進					
58 総合計画の推進					
59 総合計画の推進					
60 総合計画の推進					
61 総合計画の推進					
62 総合計画の推進					
63 総合計画の推進					
64 総合計画の推進					
65 総合計画の推進					
66 総合計画の推進					
67 総合計画の推進					
68 総合計画の推進					
69 総合計画の推進					
70 総合計画の推進					
71 総合計画の推進					
72 総合計画の推進					
73 総合計画の推進					
74 総合計画の推進					
75 総合計画の推進					
76 総合計画の推進					
77 総合計画の推進					
78 総合計画の推進					
79 総合計画の推進					
80 総合計画の推進					
81 総合計画の推進					
82 総合計画の推進					
83 総合計画の推進					
84 総合計画の推進					
85 総合計画の推進					
86 総合計画の推進					
87 総合計画の推進					
88 総合計画の推進					
89 総合計画の推進					
90 総合計画の推進					
91 総合計画の推進					
92 総合計画の推進					
93 総合計画の推進					
94 総合計画の推進					
95 総合計画の推進					
96 総合計画の推進					
97 総合計画の推進					
98 総合計画の推進					
99 総合計画の推進					
100 総合計画の推進					

決算時記載

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進	③ 平和を希求する人材の育成

事業の概要					
戦略	1 平和に関する啓発の場の確保	予算	1,087 千円	前年度	1,047 千円
事務事業	1-1 平和行政推進事業	予算	1,087 千円	前年度	1,047 千円

内容

1-1_平和に関する事業の推進

戦後 78 年を迎え、戦争の記憶が薄れる中、戦争・被爆体験者から直接、戦争の悲惨さや核兵器の残虐さを聴くことのできる機会を設けるとともに、平和を希求する人材を育成する。

① 市民の記憶の継承 (200 千円 (前年度 200 千円))

平和祈念式典の開催などにより、市民の平和及び核兵器廃絶に対する意識の高揚を図る。

ア 戦没者追悼式並びに平和祈念式典の開催

時期：7～8 月頃

会場：黒瀬生涯学習センター (健康福祉部共催)



戦没者追悼式並びに平和祈念式典



子ども平和メッセージ

イ 被爆ピアノの演奏 (うち 200 千円)

戦没者追悼式並びに平和祈念式典において被爆ピアノを演奏する。



被爆ピアノの演奏と東広島みらい合唱団
(令和5年度戦没者追悼式並びに平和祈念式典)

事業の概要

② 学習の場の提供 (297 千円 (前年度 296 千円))

小中学生をはじめ、市民が平和や非核兵器について学ぶ場を提供する。

ア 巡回原爆展の実施 (うち 147 千円)

市内小中学校、高等学校、地域センター等で開催。通常巡回原爆展に加え、原爆被爆資料展示室の資料を活用したコンパクトな原爆展も併せて実施し、開催機会の増加を図る。

【活動指標】

開催回数 28 回

※R4 実績 2 回、R5 実績 3 回 (見込)

イ 被爆体験証言者の派遣 (うち 150 千円)

市内小中学校、高等学校、大学及び住民自治協議会等へ被爆体験証言者を派遣し、被爆体験の講話を行う。

【活動指標】

派遣回数 6 回

※R4 実績 2 回、R5 実績 2 回 (見込)



巡回原爆展(中学校)



巡回原爆展(高等学校)






被爆体験の講話

③ 平和に関する広報 (590 千円 (前年度 551 千円))

「平和・非核兵器都市東広島市宣言」等の周知をはじめ、「原爆の日」・「終戦記念日」における黙とうを呼びかける。

ア 都市宣言デジタル表示盤の活用

市役所 2 階渡り廊下に設置した非核・平和都市宣言デジタル表示盤を活用し、平和へのメッセージ等を表示する。

事業の概要					
戦略	2	平和に関する資料（情報）の確保	予算	654 千円	前年度 604 千円
事務事業	2-1	平和資料保存事業	予算	654 千円	前年度 604 千円
内容					
<p>2-1_平和に関する資料の保存</p> <p>原爆被爆資料を保存するとともに、戦争の愚かさと平和の重要性を若い世代に伝承する活動を支援する。併せて、全国の自治体や平和活動団体と連携し、平和・非核兵器に関する情報を確保する。</p> <p>① 原爆被爆資料保存事業等の支援（365 千円(前年度 365 千円)）</p> <p>東広島市原爆被爆資料保存推進協議会による平和学習活動、原爆被爆資料展示、被爆証言活動等を支援する。</p> <p>ア 平和学習活動</p> <p>市立小中学校の生徒・児童等が参加し、核兵器の悲惨さと平和の尊さを学ぶ、平和学習バスを開催する（7～8月）。</p> <p>【活動指標】</p> <p>児童・生徒数 46 人 ※R4 実績 45 人、R5 実績 46 人</p> <p>イ 原爆被爆資料展示</p> <p>市民文化センター内の原爆被爆資料展示室に、遺物や資料を展示し、特別展等を開催する。</p> <p>ウ 被爆証言活動</p> <p>被爆者が自らの体験を次代へ語り継ぎ、戦争の愚かさと恒久平和への道を示す活動を実施する。</p>					
					
		原爆被爆資料展示室	平和学習バス		(高校生ガイドによる碑めぐり)

事業の概要

② 平和・非核兵器に関する情報収集の強化（289 千円(前年度 239 千円)）

平和の推進のための全国研修会等へ参加し、他の自治体や平和活動団体との連携を深め、広域的かつ多角的に平和・非核兵器に関する情報を収集する。

ア 平和団体との連携（うち 68 千円）

日本非核宣言自治体協議会、平和首長会議への加盟

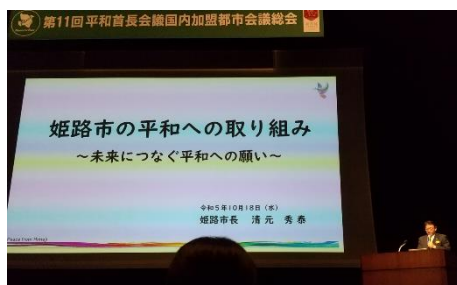
団体名	加盟自治体数	会長都市
日本非核宣言自治体協議会	356	長崎市
平和首長会議	1,739(国内) 8,363(全世界)	広島市

※ 令和 6 年 1 月現在

イ 平和に関する国内加盟都市会議（うち 221 千円）

自治体間の連携と情報交換のため、全国規模の研修会等へ参加する。

- ・ 日本非核宣言自治体協議会（研修会）
 - R5 長崎市（R5. 5 実施）
 - R6 長崎市（R6. 5 予定）
- ・ 平和首長会議（国内加盟都市会議総会）
 - R5 姫路市（R5. 10 実施）
 - R6 武蔵野市（R7. 1 予定）



R5 平和首長会議(国内加盟都市会議総会)



R5 日本非核宣言自治体協議会(研修会)

令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	2 乳幼児期における教育・保育の充実
施策の将来の目標像	子どもたちの健やかな成長のため、子育て家庭に必要な養育力が備わり、質の高い教育・保育環境が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (R1年度)	目標値 (R6年度)
	子どもの育ちを実感できる人の割合	—	90%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 幼児教育・保育の充実	主管部局・所属	こども未来部 保育課
関係部局・所属	学校教育部	指導課	

3 目指す姿と戦略

目指す姿	質の高い教育・保育環境が整っている	現状	受け皿確保に優先的に取り組んでいる	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	教育・保育人材の資質の更なる向上と、保育環境の充実が必要である	乳幼児教育・保育の質の向上(施設における育成支援)	中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7(参考値)		
(7) 幼稚園に通わせている保護者の、教育又は保育への肯定的回答(楽しんで通っている)の割合	95.0 (H30)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	98	98	98	98 (R6)	%
(4) 保育所に通わせている保護者の、教育又は保育への肯定的回答(楽しんで通っている)の割合	0 (H30)		98	98	98	98 (R6)	%
(7)	()					()	

5 コスト情報

目的別 事業群 事業費 (千円)		当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R 年 5 度	R 年					
	5 度	32,547				
	R 年					
	6 度	21,662				
R 年 6 度	R 年	27,234				
	6 度	21,786				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)


No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R5 当初予算額	R6 当初予算額
				R5 決算額	R6 決算額
1-1	3・2・1 保育の魅力向上推進事業	保育課	2.00	32,509	27,060
1-2	10・4・1 幼保小連携推進事業	指導課	0.05	38	174
合計			2.05	32,547	27,234

R5 当初予算額の内訳（前期比）		R6 当初予算額の内訳（前期比）	
R5 決算額の内訳（前期比）		R6 決算額の内訳（前期比）	
R5 当初予算額の内訳（結果指標の等価換算）			
R6 当初予算額の内訳（結果指標の等価換算）			
R5 決算額の内訳			
R6 決算額の内訳			
R5 当初予算額の内訳（結果指標の等価換算）			
R6 当初予算額の内訳（結果指標の等価換算）			
R5 決算額の内訳			
R6 決算額の内訳			
R5 当初予算額の内訳（結果指標の等価換算）			
R6 当初予算額の内訳（結果指標の等価換算）			
R5 決算額の内訳			
R6 決算額の内訳			

決算時記載

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	2 乳幼児期における教育・保育の充実	① 幼児教育・保育の充実

事業の概要			
戦略	1 乳幼児教育・保育の質の向上(施設における育成支援)	予算 27,234 千円	前年度 32,547 千円
事務事業	1-1 保育の魅力向上推進事業	予算 27,060 千円	前年度 32,509 千円
内容			
1-1_保育の魅力向上の推進			
<p>① 保育士等を対象とした研修の充実 (7,016 千円 (前年度 5,958 千円))</p> <p>ア 子育てサポート研修 (うち 2,194 千円)</p> <p>保育実践につながる内容の研修を実施する。</p> <p>(研修コース) 乳児保育、幼児教育、障がい児保育、食育・アレルギー、保健衛生・安全対策、保護者支援・子育て支援、学童期の保育・教育</p> <p>【拡】イ キャリアアップ研修 (うち 475 千円)</p> <p>保育士の処遇改善につながるキャリアアップ研修の参加を促進する。</p> <p>(研修コース) 乳児保育、マネジメント、障がい児保育、保護者支援</p> <p>ウ 東広島市保育コーディネーターを対象とした研修 (うち 107 千円)</p> <p>施設運営の中核を担う保育コーディネーターの育成、連携を図る研修を行う。</p> <p>(内容) 保育コーディネーターの役割、ソーシャルワーク、関係機関との連携</p> <p>エ 施設長のマネジメント力の強化 (うち 408 千円)</p> <p>施設全体のマネジメントを行う立場にある施設長を対象とした研修を実施する。</p> <p>【新】オ 保育ソーシャルワーカーによる支援 (うち 1,568 千円)</p> <p>特別な支援が必要な児童やその保護者への対応について、保育施設を巡回して相談に応じる。</p> <p>② 保育支援アドバイザーによる支援 (2,952 千円 (前年度 2,729 千円))</p> <p>保育支援アドバイザーの巡回相談等により若手保育士及び保育事業者を支援する。</p>			
			
			保育士等を対象とした研修の様子

③ 保育環境の充実（12,142千円（前年度 17,722千円））

ア 子どもの5つの力を育む保育環境づくり

保育室及び園庭等の改善により、子どもの豊かな体験を生む環境づくりを支援する。



保護者と一緒に行う環境づくりワークショップの様子



環境改善をした園庭で遊ぶ子どもたち

【活動指標】

参加施設数 17 施設

※R4 実績 17 施設、R5 見込み 26 施設

④ 未来を担うこどもの育ちサポート（4,950千円（前年度 6,100千円））

ア 広島大学との連携（Town&Gown）（うち 3,000千円（前年度 3,000千円））

乳幼児期における教育・保育の質向上のため、大学と連携しながら研究と実践を一体的に推進し、新しい幼児教育・保育モデルを構築する。

事業の概要			
戦略	1 乳幼児教育・保育の質の向上(施設における育成支援)	予算 27,234 千円	前年度 32,547 千円
事務事業	1-2 幼保小連携推進事業	予算 174 千円	前年度 38 千円
内容			
<p>1-2_幼稚園、保育所、小学校の連携・接続の推進</p> <p>【拡】① 幼保小連携の推進（174 千円（前年度 38 千円））</p> <p>幼稚園・保育所・認定こども園等から小学校へと円滑な接続を行い、子どもの育ちと学びを連続させていくため、幼保小連携の充実を図る。</p> <p>【活動指標】</p> <p>幼保小連携担当者研修の実施：2回</p> <p>保育公開の実施：40施設（R5実績 35施設）</p> <p>幼保小連携・接続推進モデル地域：1地域</p>			

令和 6 年度 目的別事業群総括管理（ 予算 ）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践
施策の将来の目標像	すべての子どもたちが「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む教育を受けられ、青少年が将来に夢と希望をもち、主体性と創造性をもった人間として健やかに成長し、活動していきることができる安全・安心な社会環境が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値（H29年度）	目標値（R6年度）
	全国学力・学習状況調査結果における正答率40%未満の児童の割合	11%	9%以下
	全国学力・学習状況調査結果における正答率40%未満の生徒の割合	17%	15%以下

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 学校運営の支援と教育内容の充実	主管部局・所属	学校教育部 指導課
関係部局・所属	学校教育部 教育総務課	学校教育部	学事課
	学校教育部 学校給食センター		

3 目指す姿と戦略

目指す姿	本市の高い教育水準が維持されるとともに、学校業務の抱え込みを解消することができる	現状	校長のマネジメントに支援を要する状況及び高い教育水準の維持が困難な状況が見られる	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
学校運営・教育内容の両面において学校教育の情報化の推進が必要である	学校教育の情報化を活かした未来につながる教育内容の展開	高	1	
新しい教育課題に対応するためには、教員の力量形成が不可欠である	新たな教育へ対応するための校内研修の充実及び東広島教育の伝統追求	高	2	
安全かつ魅力的な施設の観点において計画的施設整備が不可欠である	未来的志向での学校施設整備及び長寿命化計画に基づく学校施設の大規模改修	低	3	
多様化する教育課題の対応に加え、特色ある教育活動を行うための学校への支援が必要である	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入促進	低	4	

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7(参考値)		
(7) 全国学力・学習状況調査における正答率40%未満の児童生徒の割合	14 (R1) マイナス指標設定		12.4	12.0	11.6	11.6 (R7)	%
(4) 研修の成果を教育活動に積極的に反映させていると回答する教員の割合	85 (R1)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	86.6	87.0	87.4	87.4 (R7)	%
(5) 保護者や地域の人との協働による取組は学校の教育水準の向上に効果があると回答する教員の割合	89 (R1)		90.0	91.0	92.0	92.0 (R7)	%

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
5年度	R年度	5,520,481				
	5年度	2,557,420				
6年度	R年度	5,063,176				
	6年度	1,765,174				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)



No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R5 当初予算額	R6 当初予算額
				R5 決算額	R6 決算額
1-1	10・2・1及び10・3・1 小・中学校情報機器管理事業	教育総務課	3.35	373,793	436,005
1-2	10・1・3 未来の学び推進事業	指導課	1.00	67,598	74,994
2-1	10・1・3 学校教育推進事業	指導課	2.13	19,429	37,500
2-2	10・1・3 外国語教育推進事業	指導課	0.75	109,976	105,856
2-3	10・1・3 学校図書館運営事業	指導課	0.50	37,136	39,352
2-4	10・2・2及び10・3・2 小・中学校図書整備事業	指導課	0.40	17,390	21,310
3-1	10・2・3及び10・3・3 小・中学校施設整備事業	教育総務課	3.40	4,362,341	3,748,607
4-1	10・1・3 学校支援センター運営事業	指導課	1.00	32,790	45,721
4-2	10・1・3 学校の元気応援事業	指導課	0.83	114,580	124,176
4-3	10・1・3 部活動等支援事業	指導課	0.50	36,184	53,854
4-4	10・1・3 小中一貫教育推進事業	指導課	1.50	6,278	5,909
4-5	10・1・3 教育交流事業	教育総務課	0.25	1,699	1,581
4-6	10・2・1及び10・3・1 小・中学校運営事業	学事課	1.81	72,385	92,842
4-7	10・2・1及び10・3・1 小・中学校通学支援事業	学事課	1.24	165,320	171,815
4-8	10・1・3 学校保健事業	学事課	2.55	103,419	103,505
4-9	10・6・3 学校給食センター食育推進事業	学校給食センター	0.30	163	149
合計			21.51	5,520,481	5,063,176

A 企画・立案		
B 実施		
C 評価		
D 報告		
E 改善		
F 連携		
G 評価		
H 報告		
I 改善		
J 連携		
K 評価		
L 報告		
M 改善		
N 連携		
O 評価		
P 報告		
Q 改善		
R 連携		
S 評価		
T 報告		
U 改善		
V 連携		
W 評価		
X 報告		
Y 改善		
Z 連携		

決算時記載

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践	① 学校運営の支援と教育内容の充実

事業の概要			
戦略	1 学校教育の情報化を活かした未来につながる学校運営・教育内容の展開	予算 510,999 千円	前年度 441,391 千円
事務事業	1-1 小・中学校情報機器管理事業	予算 436,005 千円	前年度 373,793 千円
内容			
1-1_小・中学校情報機器の管理			
【拡】① 校務用PC・学習用タブレットの整備及び管理 (255,405 千円 (前年度 187,704 千円)) 既存機器の管理のほか、学習用タブレットについて、1 学年分を更新して令和 6 年 4 月からリース開始するとともに、8 学年分を令和 7 年 4 月から更新するための調達を行う。			
② 大型提示装置（電子黒板）の整備及び管理 (19,926 千円 (前年度 25,762 千円)) 既存機器の管理のほか、劣化した機器の更新等を行う。			
③ 情報通信ネットワーク環境の整備及び管理 (34,871 千円 (前年度 36,706 千円)) インターネット回線の増強、貸出用モバイルルータや無線 LAN アクセスポイント等の管理のほか、校舎増築工事に伴う機器移設等を行う。			
④ 統合サーバ・校務支援システムの運用及び管理 (89,803 千円 (前年度 87,621 千円)) 平成 30 年度に導入した統合サーバ機器、校務支援システム等の保守のほか、令和 6 年 11 月の稼働に向けて新統合サーバ機器の構築を行う。			
⑤ ICT 支援員（環境整備）業務の委託 (36,000 千円 (前年度 36,000 千円)) 業務委託により ICT 支援員を確保し、環境整備やトラブル対応など学校教育における ICT 活用を支援する。			
			

事業の概要			
戦略	1	学校教育の情報化を活かした未来につながる学校運営・教育内容の展開	予算 510,999 千円 前年度 441,391 千円
事務事業	1-2	未来の学び推進事業	予算 74,994 千円 前年度 67,598 千円

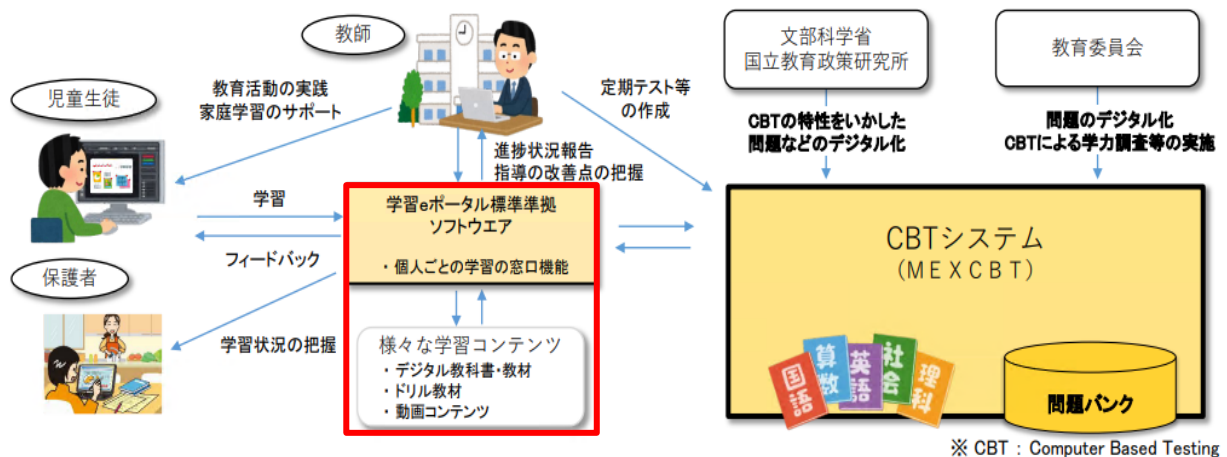
内容

1-2_未来の学び推進事業

【新】① 学習履歴を活用した個別最適な学びの推進

(35,350 千円 (前年度 24,757 千円))

デジタルドリル等から得られる学習履歴を活用し、個の実態に応じた指導や授業改善等を行うことで、個別最適な学びを充実させる。また、活用を進める中で生じた課題等を集約・改善し、よりよい活用システムを構築する。



※ CBT : Computer Based Testing

ア 学習 e ポータル及びデジタルドリル (小中学校)

学習の窓口となる学習 e ポータルと AI 機能を有するデジタルドリルを連携させ、学習履歴を活用して個の実態に応じた指導や授業改善等を行う環境を構築する。

イ デジタル採点支援システム (中学校)

テストの採点・集計をデジタル化し、蓄積された学習履歴を活用して、個の実態に応じた指導や授業改善等を推進する。

ウ ICTリーディングエリアの取組発信・普及

新しいデジタルドリルの先進的かつ効果的な活用方法について研究する中学校区を「ICTリーディングエリア」として指定し、そこで蓄積した実践を市内の公立小中学校へ普及する。また、学習履歴を活用しやすい環境を構築する。

事業の概要

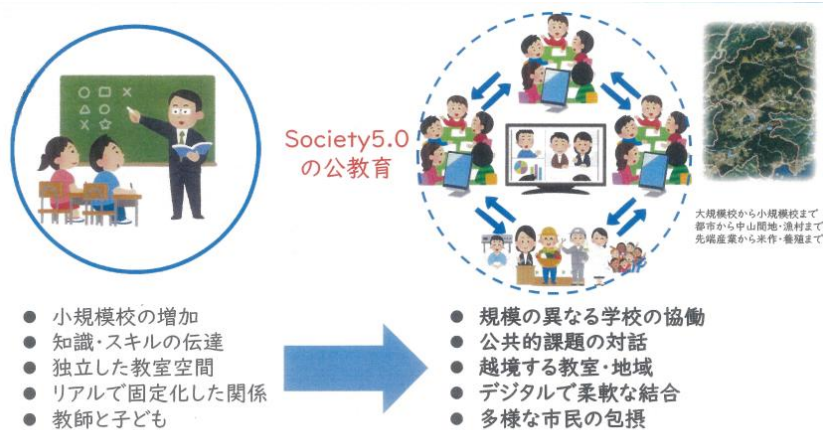
② 協働的な学びの充実に資する学習機会の創出

(30,600千円(前年度29,900千円))

【新】ア 遠隔教育に関する広島大学との共同研究

異なる立場や価値観をもつ子どもや市民等がオンライン空間を介して対話を行い、協働して課題解決や社会づくりに参画するための資質・能力を育成する。

- ・ デジタルコンテンツの開発
- ・ 保護者・地域人材の参加体制の構築
- ・ AIプログラム・装置の開発



【拡】イ ラーニングルーム（協働学習ルーム）の整備

余裕教室等を活用し、遠隔教育や異学年交流等を含め、児童生徒が協働的な学びを実施するための部屋を整備する。

【活動指標】

ラーニングルーム設置校数

R 5	R 6 (予定)	計
5校	4校	9校



ラーニングルームでの協働的な学び

事業の概要			
戦略	2	新しい教育課題に対応するための校内研修の充実及び東広島教育の伝統追求	予算 204,018 千円 前年度 183,931 千円
事務事業	2-1	学校教育推進事業	予算 37,500 千円 前年度 19,429 千円
内容			
2-1_学校教育の推進			
<p>① 市教育推進指定校による研究公開の実施（1,033 千円（前年度 1,296 千円）） 小中学校における先進的な教育研究と研究公開を支援し、その研究成果を各校へ普及させる。</p> <p>【活動指標】 市教育推進指定校による研究公開の実施：5 校 （原小、高美が丘小、中黒瀬小、河内小・中）</p> <p>② 市教育委員会主催研修の実施（991 千円（前年度 1,309 千円）） 全教職員を対象とした研修を実施し、学校教育レベルアッププランの内容を周知するとともに、これからの社会を生きるために重視する資質・能力の育成に必要な専門的な知識を習得させる。</p> <p>【活動指標】 全教職員研修の実施：3 回 管理職研修の実施：2 回</p> <p>③ 標準学力検査の実施（7,110 千円（前年度 7,251 千円）） 児童生徒の学習内容の定着状況を把握し、指導内容や指導方法の改善・充実を図るために、標準学力調査を実施する。</p> <p>④ 体力向上の推進（191 千円（前年度 190 千円）） 体育科・保健体育科の授業改善の取組を推進し、授業の質を向上させることで、児童生徒の運動・スポーツへの意欲を高め、体力の一層の向上を図る。</p> <p>【活動指標】 小学校体育授業力向上研修の実施：1 回 中学校保健体育授業力向上研修の実施：1 回</p> <p>【新】⑤ 市制 50 周年記念ポスター・作文コンクールの実施（2,268 千円） 市制施行 50 年の節目に、これからの東広島市の担い手としての意識を高める機会とするため、「未来の東広島市」についてのポスターや提案作文のコンクールを開催する。</p>			

事業の概要			
戦略	2	新しい教育課題に対応するための校内研修の充実及び東広島教育の伝統追求	予算 204,018 千円 前年度 183,931 千円
事務事業	2-2	外国語教育推進事業	予算 105,856 千円 前年度 109,976 千円
内容			
2-2_外国語教育の推進			
<p>① 外国語指導助手（ALT）の派遣（105,768 千円（前年度 109,889 千円）） 外国語教育の充実を図るために、JETプログラムの外国語指導助手（ALT）を小中学校に派遣する。</p> <p>【配置数】 外国語指導助手（ALT）の派遣：7月まで19人、8月以降17人 外国語指導助手（ALT）コーディネーターの配置：1人</p> <p>② 外国語指導力向上研修の実施（88 千円（前年度 87 千円）） 小中学校における外国語教育の充実及び円滑な接続を推進するために、外国語指導者の指導力を向上させる研修を実施する。</p> <p>【活動指標】 外国語指導力向上研修の実施：2回</p>			

事業の概要							
戦略	新たな教育へ対応するための 2 校内研修の充実及び東広島教育の伝統追求	予算 204,018 千円	前年度 183,931 千円				
事務事業	2-3 学校図書館運営事業	予算 39,352 千円	前年度 37,136 千円				
内容							
2-3_学校図書館運営の推進							
① 学校司書の配置 (35,410 千円 (前年度 33,271 千円))							
学校図書館の整備や学校図書館を活用した教育の充実を図るために、小中学校に専門的知識を有する学校司書を配置する。							
【配置数】							
学校司書の配置：小・中学校 47 校 (小学校 33 校、中学校 14 校)							
学校司書 31 人							
※もみじ小・中学校は学校図書館を共有しているため、小学校に含む。							
※配置率：1.51 校に 1 人 (国の基準：1.3 校に 1 人)							
〔令和 5 年 12 月実績〕							
〔学校司書 27 人〕							
○小学校の学校司書数							
	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5 (12 月)	R 6 (予定)	R 7 (予定)
学校司書数	9 人	11 人	11 人	14 人	13 人	17 人	20 人
1 人当たりの校数	3～4 校	3～4 校	3 校	2～3 校	1～3 校	1～3 校	1～3 校
○中学校の学校司書数							
	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5 (12 月)	R 6 (予定)	R 7 (予定)
学校司書数	14 人	14 人	14 人	14 人	14 人	14 人	14 人
配置校	全校配置						
② 学校図書館システムの管理運営 (3,942 千円 (前年度 3,865 千円))							
システム保守業務の委託等を通して、小中学校に配備している学校図書館システムの円滑な運用を図る。							

事業の概要			
戦略	2	新たな教育へ対応するための 校内研修の充実及び東広島教育の伝統追求	予算 204,018 千円 前年度 183,931 千円
事務事業	2-4	小・中学校図書整備事業	予算 21,310 千円 前年度 17,390 千円
内容			
<p>2-4_小・中学校の図書整備</p> <p>【拡】① 小・中学校の図書の購入（21,310 千円（前年度 17,390 千円）） 小・中学校図書館の蔵書の充実を図ることにより、児童生徒の読書意欲を喚起し、読書活動の活性化を図る。</p> <p>【活動指標】</p> <p>図書の購入：小学校 6,510 冊（R5年度：4,680 冊） 中学校 2,908 冊（R5年度：2,750 冊）</p>			

事業の概要				
戦略	3	未来的志向での学校施設整備及び長寿命化計画に基づく学校施設の大規模改修	予算 3,748,607 千円	前年度 4,362,341 千円
事務事業	3-1	小・中学校施設整備事業	予算 3,748,607 千円	前年度 4,362,341 千円
内容				
3-1_小・中学校の施設整備				
① 校舎等整備事業				
児童数の増加に対応するため増築工事を行う。				
ア 御園宇小学校増築等設計業務・工事 (うち 723,012 千円)				
イ 西条小学校増築等工事 (うち 652,126 千円)				
	R4	R5	R6	R7
ア御園宇小学校		設計		工事
イ西条小学校	設計		工事	
② 長寿命化改良整備事業				
ア 郷田小学校長寿命化改良及び増築設計業務 (うち 12,631 千円)				
イ 川上小学校長寿命化改良及び増築工事 (うち 1,655,403 千円)				
【新】ウ 下黒瀬小学校長寿命化改良設計業務 (うち 8,174 千円)				
【新】エ 板城西小学校長寿命化改良設計業務 (うち 8,774 千円)				
	R4	R5	R6	R7
ア郷田小学校		設計		
イ川上小学校	設計		工事	
ウ下黒瀬小学校			設計	
エ板城西小学校			設計	
③ 小中学校トイレ環境改善事業 (うち 90,000 千円)				
洋式化などトイレの環境改善を進める。				
④ 小中学校特別教室空調設備賃貸借事業 (うち 292,189 千円)				
各小中学校の特別教室等に空調設備を設置する。				
	R4	R5	R6	概要
第1期	設計・工事	設置	設置	西条・八本松地区 (小学校6校、中学校4校)
第2期		設計・工事	設置	高屋・志和・河内地区 (小学校8校、中学校4校)
第3期			設計・工事 設置	黒瀬・福富・豊栄・安芸津地区 (小学校7校、中学校5校)

事業の概要

⑤ その他

【新】ア 小中学校屋内運動場空調設備運営事業（ESCO 事業）（うち 11,553 千円）

- ・ 入野小、木谷小、三津小、風早小、高屋中

イ 個別改修等（うち 294,745 千円）

- ・ 中黒瀬小学校受水槽改修工事
- ・ 旧東志和小学校校舎等解体工事
- ・ 向陽中学校下水道接続設計
- ・ 福富中学校エレベータ改修設計
- ・ 空調保守管理・運営事業（P F I ・安芸津中） など

事業の概要

戦略	4 特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入促進	予算 599,552 千円	前年度 532,818 千円
事務事業	4-1 学校支援センター運営事業	予算 45,721 千円	前年度 32,790 千円

内容

4-1_学校運営の支援と教育内容の充実

① 学校支援センターの運営（45,721 千円（前年度 32,790 千円））

ア スクールサポーター（退職教員）による支援（教科指導、学校運営、学校環境整備、部活動支援）

イ 若手教員に対する伴走型支援

ウ 教員に対する I C T を活用したオンデマンド型研修の実施

【拡】エ I C T を活用した授業づくりに対する支援の充実

国が示す配置基準（4校に1人）に対し、令和7年度の到達を目指して、I C T 支援員（授業支援）を2人増員し4人配置する。

（令和6年度：4.4校に1人）

事業の概要			
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入促進	予算 599,552 千円 前年度 532,818 千円
事務事業	4-2	学校の元気応援事業	予算 124,176 千円 前年度 114,580 千円
内容			
4-2_学校の特色ある教育活動の応援			
<p>① 特色ある学校づくりの支援（8,009 千円（前年度 8,002 千円）） 各学校の特色ある学校づくりを推進するために、外部講師を招聘しての校内研修や一校一和文化学習などの教育活動、環境整備や緑化活動などの取組を支援する。</p> <p>【活動指標】 高度な専門性を有する指導者の派遣：110回 専門性を有する指導者の派遣：160回 マイタウンティーチャー・留学生の派遣：1,400回 学生マイタウンティーチャーの派遣：160回</p> <p>② 学校経営アドバイザーの派遣（12,738 千円（前年度 11,266 千円）） 学校経営や優れた教科指導、生徒指導、部活動指導の力量や経験を有する退職管理職を学校経営アドバイザーとして派遣する。</p> <p>【派遣数】 学校経営アドバイザーの派遣：4人</p> <p>③ 教科等指導支援員の配置（25,839 千円（前年度 21,436 千円）） 教科指導における課題や特別支援学級における教科指導に対応するために、学習指導ができる教科等指導支援員を配置する。</p> <p>【配置数】 教科等指導支援員の配置：8校8人</p> <p>④ 中学校音楽会の開催（2,206 千円（前年度 1,577 千円）） 音楽会を通して、生徒相互の交流を深めるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、音楽を愛好する心情や態度を育てる。</p> <p>⑤ 小学校陸上・水泳記録会の開催（4,986 千円（前年度 3,386 千円）） 陸上・水泳記録会を通して、児童相互の交流を深めるとともに、運動への意欲を高め、運動能力を向上させる。</p>			

事業の概要

【拡】⑥ 学校運営協議会委員の任用（1,876千円（前年度1,920千円））

学校が地域とともによりよい学校運営を実施するために、学校運営協議会を設置し、委員を任用する。

【任用数】

学校運営協議会委員の任用：41協議会469人

※ R6年度に全小中学校に学校運営協議会を設置する。

○学校運営協議会設置校

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5
設置校数	1	1	9	13	25	36
学校名	風早小	風早小	風早小 高美が丘小・中 福富中 八本松小 小谷小 御菌宇小 上黒瀬小 龍王小	風早小 高美が丘小・中 福富小・中 八本松小 小谷小 御菌宇小 上黒瀬小 龍王小 志和中 河内中 寺西小	風早小 高美が丘小・中 福富小・中 八本松小 小谷小 御菌宇小 上黒瀬小 龍王小 志和小・中 河内小・中・入野小 寺西小 三永小 高屋東小 吉川小 郷田小 板城小 板城西小 乃美尾小 木谷小 三津小	風早小 高美が丘小・中 福富小・中 八本松小 小谷小 御菌宇小 上黒瀬小 龍王小 志和小・中 河内小・中・入野小 寺西小 三永小 高屋東小 吉川小 郷田小 板城小 板城西小 乃美尾小 木谷小 三津小 原小 高屋西小 川上小 平岩小 東西条小 中黒瀬小 三ツ城小 下黒瀬小 八本松中 豊栄小・中

⑦ コミュニティ・スクール推進員の配置

(68,337千円（前年度66,806千円）)

学校運営協議会に係る連絡調整や地域学校協働活動推進員との連携、学校用務など、学校運営の支援を図るために、コミュニティ・スクール推進員を配置する。

【配置数】

コミュニティ・スクール推進員の配置：31人

事業の概要																			
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入促進	予算 599,552 千円	前年度 532,818 千円															
事務事業	4-3	部活動等支援事業	予算 53,854 千円	前年度 36,184 千円															
内容																			
4-3_部活動等への支援																			
<p>① 大会や団体への負担金及び補助金の支援(3,545千円(前年度3,524千円)) 中学校体育連盟への加盟金を負担する。また、市内で実施される中国中学校駅伝競走大会や小学生体育連盟の事業に対して補助する。</p> <p>② 児童・生徒の大会への派遣費の補助(21,300千円(前年度21,300千円)) 中学校体育連盟及び中学校文化部連盟主催の大会等への生徒の参加に係る保護者への負担軽減を図るために、基準に照らし、中学校に派遣費を補助する。また、全国大会へ出場する小学校に派遣費を補助する。</p> <p>【拡】③ 部活動指導員の配置(16,859千円(前年度8,231千円)) 部活動を担当する教員の負担軽減や専門性を生かした部活動指導を行うために、部活動指導員を配置する。</p> <p>【配置数】 部活動指導員の配置：14校20人を予定(R5年度：9校10人)</p> <p>○部活動指導員の配置先等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6(予定)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配置先</td> <td>八本松中(陸上) 向陽中(テニス) 磯松中(バレー) 黒瀬中(野球)</td> <td>八本松中(陸上) 向陽中(テニス) 磯松中(バレー) 黒瀬中(野球) 西条中(柔道) 松賀中(柔道) 高美が丘中(野球) 中央中(美術)</td> <td>八本松中(陸上) 向陽中(テニス) 磯松中(バレー) 黒瀬中(バスケ、柔道) 西条中(柔道) 松賀中(野球) 中央中(美術) 安芸津中(バレー) 志和中(ゴルフ)</td> <td>八本松中(陸上) 向陽中(テニス) 磯松中(バレー) 黒瀬中(バスケ、柔道) 西条中(柔道) 松賀中(野球) 中央中(美術) 安芸津中(バレー) 志和中(ゴルフ) 高屋中(バスケ) 高美が丘中(バレー) 福富中(テニス) 豊栄中(テニス) 河内中(バレー) 他</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>4人</td> <td>8人</td> <td>10人</td> <td>20人</td> </tr> </tbody> </table> <p>④ 部活動の地域展開に係る検討会議の開催(300千円(前年度615千円)) 部活動の地域展開の方針や取組を検討するために、教育委員会、学校、地域、大学等の代表者による検討会議を開催する。</p> <p>【活動指標】 部活動の地域展開に係る検討会議の開催：2回</p>						R3	R4	R5	R6(予定)	配置先	八本松中(陸上) 向陽中(テニス) 磯松中(バレー) 黒瀬中(野球)	八本松中(陸上) 向陽中(テニス) 磯松中(バレー) 黒瀬中(野球) 西条中(柔道) 松賀中(柔道) 高美が丘中(野球) 中央中(美術)	八本松中(陸上) 向陽中(テニス) 磯松中(バレー) 黒瀬中(バスケ、柔道) 西条中(柔道) 松賀中(野球) 中央中(美術) 安芸津中(バレー) 志和中(ゴルフ)	八本松中(陸上) 向陽中(テニス) 磯松中(バレー) 黒瀬中(バスケ、柔道) 西条中(柔道) 松賀中(野球) 中央中(美術) 安芸津中(バレー) 志和中(ゴルフ) 高屋中(バスケ) 高美が丘中(バレー) 福富中(テニス) 豊栄中(テニス) 河内中(バレー) 他	人数	4人	8人	10人	20人
	R3	R4	R5	R6(予定)															
配置先	八本松中(陸上) 向陽中(テニス) 磯松中(バレー) 黒瀬中(野球)	八本松中(陸上) 向陽中(テニス) 磯松中(バレー) 黒瀬中(野球) 西条中(柔道) 松賀中(柔道) 高美が丘中(野球) 中央中(美術)	八本松中(陸上) 向陽中(テニス) 磯松中(バレー) 黒瀬中(バスケ、柔道) 西条中(柔道) 松賀中(野球) 中央中(美術) 安芸津中(バレー) 志和中(ゴルフ)	八本松中(陸上) 向陽中(テニス) 磯松中(バレー) 黒瀬中(バスケ、柔道) 西条中(柔道) 松賀中(野球) 中央中(美術) 安芸津中(バレー) 志和中(ゴルフ) 高屋中(バスケ) 高美が丘中(バレー) 福富中(テニス) 豊栄中(テニス) 河内中(バレー) 他															
人数	4人	8人	10人	20人															

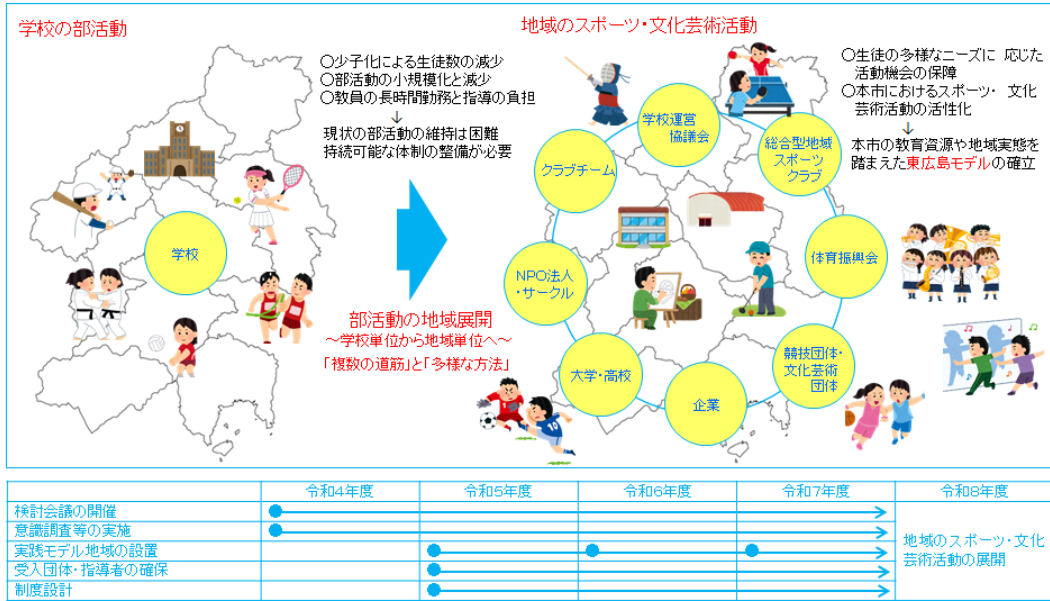
事業の概要

【拡】⑤ 部活動の地域展開実践モデル地域の設置 (9,004 千円 (前年度 2,514 千円))
部活動の地域展開の在り方や方法を研究・推進するために、実践モデルを設ける。

【活動指標】

部活動の地域展開 地域連携モデル：1 地域（志和）
大学連携モデル：2 地域（西条、黒瀬）
競技団体モデル：3 団体

○部活動の地域展開グランドデザイン



【新】⑥ 部活動支援コーディネーターの配置 (2,846 千円)

部活動の地域展開に関する諸課題への対応や、大学、企業、競技団体等との連携を専門的な立場で行い、部活動の地域展開を推進していくため、部活動支援コーディネーターを配置する。

【配置数】

部活動支援コーディネーターの配置：1 人

○部活動支援コーディネーターの業務

業務	内容
地域指導者等に関することについて	<ul style="list-style-type: none"> ・確保、人選、人材バンク化 ・研修の実施 ・予算執行業務
学校と関係機関等との連携について	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校と地域指導者等の連絡・調整 ・大学、企業、競技団体等との連携
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の地域展開に関する諸課題への対応

事業の概要			
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入促進	予算 599,552 千円 前年度 532,818 千円
事務事業	4-4	小中一貫教育推進事業	予算 5,909 千円 前年度 6,278 千円
内容			
<p>4-4_小中一貫教育の推進</p> <p>【拡】① 小中一貫教育の推進（5,556 千円（前年度 5,205 千円）） 小中一貫教育の推進を図るために、福富地域、志和地域、河内地域、豊栄地域における特色ある教育課程の実施を支援する。</p> <p>【活動指標】 特色ある教育課程の実施：福富地域（アントレプレナーシップ教育） 志和地域（eSTEAM教育） 河内地域（地域創生プロジェクト） 豊栄地域（自然科学）（R6年度開始）</p> <p>② 小規模校における特色ある教育活動の推進（353 千円（前年度 530 千円）） 小規模校の特性を生かした教育を推進するために、小規模特認校における特色ある教育活動の実施を支援する。</p> <p>【活動指標】 特色ある教育活動の実施：吉川小 木谷小</p>			

事業の概要			
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入促進	予算 599,552 千円 前年度 532,818 千円
事務事業	4-5	教育交流事業	予算 1,581 千円 前年度 1,699 千円

内容

4-5_教育交流の推進

① 姉妹都市等との交流活動実施（1,581 千円（前年度 1,699 千円））

姉妹都市である北海道北広島市の小中学校と相互に児童生徒を派遣し、交流することにより、両市の教育の発展と児童生徒の視野の拡大及び友好親善の精神を培う。

友好都市である中国四川省徳陽市とオンライン等による教育文化の交流を通じて、互いの友好親善を深める。



【北広島市】北広島市子ども大使との交流の様子（受入れ）



【徳陽市】西条中学校と徳陽中学校のオンライン交流の様子

事業の概要			
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入促進	予算 599,552 千円 前年度 532,818 千円
事務事業	4-6	小・中学校運営事業	予算 92,842 千円 前年度 72,385 千円
内容			
4-6_小・中学校運営の支援			
【拡】① 学校運営体制の支援（82,614 千円（前年度 62,573 千円））			
【小学校への配置数】看護師 5 人、学校事務職 4 人、養護講師 2 人			
【中学校への配置数】講師 8 人、学校事務職 5 人、養護講師 2 人			
<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアが必要な児童に対して、看護師を 2 人増員する。 ・規模の大きい学校に対して、きめ細かい保健健康指導を行うため、養護講師 1 人を増員する。 			
② 関係団体への負担金及び補助金（3,480 千円（前年度 3,443 千円））			
【負担金】			
<ul style="list-style-type: none"> ・広島県連合小学校長会 ・広島県公立学校校長会連合会 ・広島県公立中学校長会 ・広島県公立小・中学校事務長会 ・広島県小学校教育研究会 ・広島県中学校教育研究会 			
【補助金】			
<ul style="list-style-type: none"> ・東広島市小学校教頭会 ・東広島市中学校教頭会 ・東広島市立学校教育研究会 			

事業の概要												
戦略	4 特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入促進	予算 599,552 千円	前年度 532,818 千円									
事務事業	4-7 小・中学校通学支援事業	予算 171,815 千円	前年度 165,320 千円									
内容												
4-7_小・中学生への通学支援												
① 小学校の通学支援（スクールバス・スクールタクシー運行） （142,862 千円（前年度 140,185 千円）） 学校統合等による遠距離通学児童への通学支援として、スクールバス・スクールタクシーを運行する。 【対象小学校区】 板城小、志和小、中黒瀬小、福富小、豊栄小、河内小、入野小、風早小												
② 中学校の通学支援（スクールバス運行）（17,233 千円（前年度 17,233 千円）） 【対象中学校区】 高屋中												
【拡】③ 遠距離通学児童生徒の通学費補助（4,862 千円（前年度 4,060 千円）） 【小学校】川上小、中黒瀬小 【中学校】高屋中、河内中 公共交通機関の定期代など最大 1,000 円/月としていた保護者負担額を 0 円/月とする。												
【拡】④ 自転車通学生徒ヘルメット購入費の補助（5,115 千円（前年度 2,835 千円）） 【対象者】市内全中学校生徒（1,550 人分） ヘルメット購入費用に係る補助の上限を 2,100 円から 3,500 円に引き上げ、保護者実質負担額を 0 円とする。（ヘルメット単価（見込み）3,300 円）												
【新】⑤ 特認校への通学費補助（500 千円） 小規模特認校及び小中一貫特認校への通学費の一部を補助する。 ア 小規模特認校												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校</th> <th>人数(見込み)</th> <th>補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木谷小</td> <td>2 人</td> <td>60,000 円</td> </tr> <tr> <td>吉川小</td> <td>2 1 人</td> <td>275,000 円</td> </tr> </tbody> </table>				学校	人数(見込み)	補助額	木谷小	2 人	60,000 円	吉川小	2 1 人	275,000 円
学校	人数(見込み)	補助額										
木谷小	2 人	60,000 円										
吉川小	2 1 人	275,000 円										
イ 小中一貫特認校												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校</th> <th>人数(見込み)</th> <th>補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福富小・福富中</td> <td>5 人</td> <td>115,000 円</td> </tr> <tr> <td>河内小・入野小・河内中</td> <td>2 人</td> <td>50,000 円</td> </tr> </tbody> </table>				学校	人数(見込み)	補助額	福富小・福富中	5 人	115,000 円	河内小・入野小・河内中	2 人	50,000 円
学校	人数(見込み)	補助額										
福富小・福富中	5 人	115,000 円										
河内小・入野小・河内中	2 人	50,000 円										
【新】⑥ 遠距離通学の保護者に対する支援〔再掲〕 ア スクールバスの運行に係る保護者負担金を 0 円とする。 イ 遠距離通学の児童生徒の通学費に係る保護者負担額を 0 円とする。 ウ 自転車通学の生徒のヘルメット購入に係る保護者実質負担額を 0 円とする。												

事業の概要			
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入促進	予算 599,552 千円 前年度 532,818 千円
事務事業	4-8	学校保健事業	予算 103,505 千円 前年度 103,419 千円
内容			
4-8_学校保健の推進			
① 各種健康診断及び各種学校環境衛生検査の実施 (86,221 千円 (前年度 85,954 千円))			
【健康診断実施内容】			
・ 児童生徒等の健康診断 (内科検診、歯科検診、眼科検診、耳鼻科検診、結核検診、尿検査、心音心電図検査)			
・ 就学時の健康診断			
【拡】・ 教職員の健康診断(情報機器作業に関する健康診断を含む。)、ストレスチェック			
【学校環境衛生検査実施内容】			
・ 空気中の化学物質濃度検査			
・ プール水及び飲料水水質検査			
・ 教室等の環境検査			
② 各種保険等への加入及び関係団体への補助金交付、研修等参加助成 (17,284 千円 (前年度 17,465 千円))			
【加入保険】			
・ 日本スポーツ振興センター災害共済			
・ 全国市長会学校災害賠償補償保険			
【負担金】			
・ 日本スポーツ振興センター			
・ 広島県学校保健会			
・ 衛生推進者・管理者等養成講習会参加費			
【補助金】			
・ 東広島市学校保健会			

事業の概要			
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入促進	予算 599,552 千円 前年度 532,818 千円
事務事業	4-9	学校給食センター食育推進事業	予算 149 千円 前年度 163 千円
内容			

4-9_食育の推進

① 栄養教諭が各小中学校で実施する食育指導（30 千円（前年度 30 千円））

生涯にわたって健康で生き生きした生活を送ることを目指し、児童生徒が正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ、食事を通じて自らの健康管理ができるよう、小中学校で食に関する指導を行う。

【活動指標】

- ・食に関する指導
 - ・リクエスト給食の実施・指導
 - ・残食率
- 実施時期：通年
実施回数：各小中学校年 1 回
集計回数：毎食



小学校での食に関する指導の様子

② 食をテーマとしたイベントの実施（119 千円（前年度 133 千円））

東広島学校給食センター施設開放イベント、安芸津学校給食センター料理教室を開催し、受配校の児童生徒保護者や地域の方との交流を通して、地域と連携した食育推進を図る。

【活動指標】

- ・実施時期：7 月～8 月
- ・参加人数：施設開放イベント 300 人、料理教室 40 人を見込む。



安芸津料理教室



施設開放イベント

令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践
施策の将来の目標像	すべての子どもたちが「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む教育を受けられ、青少年が将来に夢と希望をもち、主体性と創造性をもった人間として健やかに成長し、活動していくことができる安全・安心な社会環境が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H29年度)	目標値 (R6年度)
	全国学力・学習状況調査結果における正答率40%未満の児童の割合	11%	9%以下
	全国学力・学習状況調査結果における正答率40%未満の生徒の割合	17%	15%以下

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 特別なニーズに対応した教育の充実	主管部局・所属	学校教育部 指導課
関係部局・所属	学校教育部	教育総務課	学校教育部 学事課

3 目指す姿と戦略

目指す姿	障がいの有無、国籍、家庭の経済事情等にかかわらず、全ての子どもが、夢に向かって自己実現できる教育環境が整う	現状	現代的課題は増加し、学びのセーフティネット構築の必要性が学校教育、社会教育両面で益々求められている		
課題		仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
特別支援教育の専門的な知識及び教育力が不足し、切れ目ない支援体制構築が求められている		特別な支援を要する児童生徒への教育推進		高	1
日本語指導体制の整備が十分とは言えず、子どもや保護者の困り感への対応が必要な状況である		外国につながる児童生徒への教育推進		中	2
経済的な理由により子どもの可能性を伸ばす日常的な学びが保障されていない状況が見られる		学校教育における学力保障、福祉関係機関等との連携強化		低	3

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7(参考値)		
(7) 特別支援教育の校内支援体制を整備し、特別な支援が必要な児童生徒への支援を適切に行っていると回答する学校の割合	- (R3)		96.0	98.0	98.0	98.0 (R7)	%
(4) 日本語指導教育の校内支援体制を整備し、外国につながる児童生徒への支援を適切に行っていると回答する学校の割合	- (R3)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	90.0	92.0	94.0	94.0 (R7)	%
(7)	()					()	

5 コスト情報

目的別 事業群 事業費 (千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
		5年度		621,341		
6年度		607,977				
			674,912			
			661,073			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R5 当初予算額	R6 当初予算額
				R5 決算額	R6 決算額
1-1	10・1・3 特別支援教育推進事業	指導課	0.60	10,219	11,559
1-2	10・2・2及び10・3・2 小・中学校教育支援者配置事業	指導課	0.85	385,978	441,603
2-1	10・1・3 外国につながる児童生徒への教育推進事業	指導課	0.40	19,645	22,709
3-1	10・2・2及び10・3・2 小・中学校就学支援事業	学事課	2.08	200,225	193,675
3-2	10・1・3 私立学校等助成事業	教育総務課	0.10	5,274	5,366
合計			4.03	621,341	674,912

R5 当初予算の分析（前期比）		R6 当初予算の分析（前期比）	
R5 決算額の分析（前期比）		R6 決算額の分析（前期比）	
R5 当初予算の分析（前期比）			
R6 当初予算の分析（前期比）			
R5 決算額の分析（前期比）			
R6 決算額の分析（前期比）			
決算時記載			
R5 当初予算の分析（前期比）		R6 当初予算の分析（前期比）	
R5 決算額の分析（前期比）		R6 決算額の分析（前期比）	
R5 当初予算の分析（前期比）			
R6 当初予算の分析（前期比）			
R5 決算額の分析（前期比）			
R6 決算額の分析（前期比）			

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践	② 特別なニーズに対応した教育の充実

事業の概要			
戦略	1 特別な支援を要する児童生徒への教育推進	予算 453,162 千円	前年度 396,197 千円
事務事業	1-1 特別支援教育推進事業	予算 11,559 千円	前年度 10,219 千円
内容			
1-1_特別支援教育の推進			
【拡】① 特別支援教育サポーター・特別支援教育大学生サポーターの派遣 (7,533 千円 (前年度 6,283 千円))			
通常の学級や特別支援学級に在籍する発達障害のある児童生徒の学習支援等を行うために、特別支援教育サポーターや特別支援教育大学生サポーターを派遣する。			
【活動指標】			
特別支援教育サポーターの派遣：5,040 時間			
特別支援教育大学生サポーターの派遣：2,000 時間			
② 手話通訳者・要約筆記者の派遣 (180 千円 (前年度 410 千円))			
学校からの情報を確実に保護者に提供するために、手話通訳者や要約筆記者を派遣する。			
【活動指標】			
手話通訳者及び要約筆記者の派遣：50 回			
③ 巡回相談の実施 (173 千円 (前年度 173 千円))			
発達障害のある児童生徒の理解と指導や支援の向上を図るために、特別支援教育の専門家による巡回相談を実施する。			
【活動指標】			
巡回相談員の派遣：20 回			
④ 教育支援委員会の開催 (206 千円 (前年度 183 千円))			
障がいのある幼児児童生徒に対し、その能力及び特性に応じた適切な教育を行うために、教育支援委員会を設置し開催する。			
【活動指標】			
教育支援委員会の開催：5 回			

事業の概要

⑤ 特別支援教育担当者研修の実施（25 千円（前年度 41 千円））

特別支援教育の専門性を高め、指導力を向上させるために、特別支援教育担当者を対象とした研修を実施する。

【活動指標】

通級指導教室担当者研修の実施：1 回

特別支援教育担当者研修の実施：2 回

⑥ 特別支援教育相談員の配置（3,162 千円（前年度 2,849 千円））

障がいのある幼児児童生徒の教育相談及び教育支援委員会に係る業務を充実させるために、特別支援教育相談員を配置する。

【配置数】

特別支援教育相談員の配置：1 人

⑦ 特別支援教材教具制作の支援（280 千円（前年度 280 千円））

特別支援学級の学習活動の充実を図るために、教材や教具の開発等に向けた取組への支援を実施する。

【活動指標】

特別支援学級への教材教具制作の支援：140 学級

事業の概要					
戦略	1	特別な支援を要する児童生徒への教育推進	予算 453,162 千円	前年度 396,197 千円	
事務事業	1-2	小・中学校教育支援者配置事業	予算 441,603 千円	前年度 385,978 千円	
内容					
1-2_小・中学校教育支援者の配置					
① 教育補助員の配置（311,853 千円（前年度 273,666 千円））					
特別支援学級に在籍する児童生徒の学習や生活の支援を行い、特別支援学級の円滑な運営を図るために、教育補助員を配置する。					
【配置数】					
教育補助員の配置：小学校 26 校 70 人（R5 年 12 月：70 人）					
中学校 10 校 30 人（R5 年 12 月：27 人）					
○小学校の特別支援学級数と在籍者数			○中学校の特別支援学級数と在籍者数		
	学級数	在籍者数		学級数	在籍者数
R 3	87 学級	366 人	R 3	34 学級	102 人
R 4	92 学級	416 人	R 4	35 学級	133 人
R 5	93 学級	443 人	R 5	40 学級	158 人
R 6 (想定)	100 学級	489 人	R 6 (想定)	41 学級	182 人
② 学校教育支援員の配置（129,750 千円（前年度 112,312 千円））					
通常の学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒に対応するために、学校教育支援員を配置する。					
【配置数】					
学校教育支援員の配置：小学校 30 校 30 人（R5 年 12 月：30 人）					
中学校 10 校 14 人（R5 年 12 月：14 人）					

事業の概要				
戦略	2	外国につながる児童生徒への教育推進	予算 22,709 千円	前年度 19,645 千円
事務事業	2-1	外国につながる児童生徒への教育推進事業	予算 22,709 千円	前年度 19,645 千円
内容				
2-1_外国につながる児童生徒への教育推進				
① 日本語指導拠点校の設置 (14,952 千円 (前年度 11,935 千円))				
日本語指導に係る研究を推進するために、日本語指導拠点校を設置するとともに、外国につながる児童生徒への支援を充実するために、学校教育支援員を配置する。				
【設置数】				
日本語指導拠点校の設置：1 校 (三ツ城小学校)				
【配置数】				
学校教育支援員の配置：5 人 (日本語指導学級設置校 5 校)				
② 日本語初期指導教室指導員の派遣 (5,964 千円 (前年度 5,966 円))				
来日して間もない児童生徒に学校生活や日本語に係る指導を行い、学校への早期適応を図るために、日本語初期指導教室へ指導員を派遣する。				
【派遣数】				
日本語初期指導教室指導員の派遣：3 人				
○日本語指導が必要な児童生徒数				
	R 2	R 3	R 4	R 5
小学校	138 人	132 人	151 人	171 人
中学校	30 人	25 人	35 人	29 人
計	168 人	157 人	186 人	200 人
○日本語初期指導教室への入級児童生徒数				
	R 2	R 3	R 4	R 5 (12月)
小学校	7 人	20 人	21 人	16 人
中学校	3 人	6 人	6 人	4 人
計	10 人	26 人	27 人	20 人
③ 通訳者・支援員の派遣 (419 千円 (前年度 419 千円))				
日本語の理解が十分でない児童生徒や保護者に対し、学校生活への適応等の支援のために、通訳者や支援員を派遣する。				
【活動指標】				
通訳者・支援員の派遣：90 回				

事業の概要

- ④ 日本語指導担当者等研修の実施（50 千円（前年度 88 千円））
 外国につながる児童生徒への理解や日本語指導の指導力の向上を図るために、日本語指導学級や該当児童生徒の学級担任を対象に研修を実施する。

【活動指標】

日本語指導担当者等研修の実施：1 回

- ⑤ 日本語指導コーディネーターの配置（1,324 千円（前年度 1,237 千円））
 日本語初期指導教室に係る連絡調整、通訳者・支援員の派遣、大学等との連携などを専門的に担当し、市全体の日本語指導体制の充実を図るために、指導課に日本語指導コーディネーターを配置する。

【配置数】

日本語指導コーディネーターの配置：1 人

事業の概要

戦略	3	学校教育における学力保障、福祉関係機関等との連携強化	予算 199,041 千円	前年度 205,499 千円
事務事業	3-1	小・中学校就学支援事業	予算 193,675 千円	前年度 200,225 千円

内容

- 3-1_小・中学校の就学支援（193,675 千円（前年度 200,225 千円））
- ① 経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者への学用品費等の支給
 - ② 特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者への学用品費等の支給

事業の概要			
戦略	3	学校教育における学力保障、福祉関係機関等との連携強化	予算 199,041 千円 前年度 205,499 千円
事務事業	3-2	私立学校等助成事業	予算 5,366 千円 前年度 5,274 千円
内容			
3-2_私立学校等への助成			
<p>① 賀茂高等学校定時制後援会等への補助金交付(220 千円(前年度 200 千円))</p> <p>【補助内容】</p> <p>講演会の開催、部活動全国大会遠征等に要する経費</p> <p>② 近畿大学附属広島高等学校東広島校及び呉武田学園武田高等学校への補助金交付(2,146 千円(前年度 2,074 千円))</p> <p>【補助内容】</p> <p>教材費、教育研究機器などの購入に要する経費</p> <p>③ 賀茂北高等学校の活性化に係る補助金交付(3,000 千円(前年度 3,000 千円))</p> <p>県央の進学先である賀茂北高等学校の魅力向上への支援として、地域が運営する生徒の自学自習の場での資格取得講座の受講等に要する費用を補助する。</p>			

令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践
施策の将来の目標像	すべての子どもたちが「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む教育を受けられ、青少年が将来に夢と希望をもち、主体性と創造性をもった人間として健やかに成長し、活動していくことができる安全・安心な社会環境が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H29年度)	目標値 (R6年度)
	全国学力・学習状況調査結果における正答率40%未満の児童の割合	11%	9%以下
	全国学力・学習状況調査結果における正答率40%未満の生徒の割合	17%	15%以下

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	③ 地域と連携した青少年健全育成の環境づくり	主管部局・所属	学校教育部 指導課
関係部局・所属	生涯学習部 青少年育成課	生涯学習部	生涯学習課

3 目指す姿と戦略

目指す姿	地域及び関係諸機関との連携体制が整い、青少年の健全な育成が図られる	現状	全国や県に比して良好な傾向ではあるが青少年問題の課題は増加し、憂慮される	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
個々の児童生徒の状況に対応するための校内の仕組づくりが十分とは言えない	個に応じた生徒指導の充実		高	1
家庭教育充実に資する保護者への啓発活動推進が十分とは言えない	安全・安心に過ごせる児童生徒の居場所づくり		中	2
子どもと地域住民とのつながりや、地域で子どもが活動できる場が求められている	地域学校協働活動の推進と児童の放課後活動の充実		低	3

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7(参考値)		
(7) 自分でやると決めたことはやり遂げるようにすると回答する児童生徒の割合	88 (R3)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	90	91	92	92 (R7)	%
(4) 将来の夢や目標を持っていると回答する児童生徒の割合	84 (R1)		85	88	91	100 (R10)	%
(7) 異年齢交流・体験活動の年間実施数	12 (R4)		16	20	20	20 (R10)	回

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R5年度			85,076			
			72,530			
R6年度			97,432			
			88,232			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R5 当初予算額	R6 当初予算額
				R5 決算額	R6 決算額
1-1	10-1-3 生徒指導推進事業	指導課	2.95	55,620	69,225
2-1	10-5-1 青少年健全育成事業	青少年育成課	0.90	8,036	10,867
2-2	10-5-1 青少年健全育成団体支援事業	青少年育成課	0.60	2,909	2,101
3-1	10-5-1 放課後子供教室運営事業	青少年育成課	0.50	15,062	12,934
3-2	10-5-1 地域学校協働活動推進事業	生涯学習課	0.50	3,449	2,305
合計			5.45	85,076	97,432

R5 当初予算の分析（前期比）		R6 当初予算の分析（結果前回の前期比）	
R5 決算額の分析		R6 決算額の分析	
<p style="text-align: center;">決算時記載</p>			
R5 決算額の分析（結果前回の前期比）		R6 決算額の分析（結果前回の前期比）	
<p style="text-align: center;">決算時記載</p>			
R5 決算額の分析（結果前回の前期比）		R6 決算額の分析（結果前回の前期比）	
<p style="text-align: center;">決算時記載</p>			

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践	③ 地域と連携した青少年健全育成の環境づくり

事業の概要				
戦略	1 個に応じた生徒指導の充実	予算	69,225千円	前年度 55,620千円
事務事業	1-1 生徒指導推進事業	予算	69,225千円	前年度 55,620千円

内容

1-1_生徒指導の推進

【拡】① 校内特別支援教室の設置（545千円（前年度525千円））

不登校等児童生徒の社会的自立を促すために、校内特別支援教室（スペシャルサポートルーム）を設置する。

【活動指標】

校内特別支援教室の設置：小学校7校（R5年度：6校）

中学校5校（R5年度：4校）

○校内特別支援教室の設置校

	小学校		中学校			
	市	計	市	計	県	計
R 1	—	0校	—	0校	八本松中・高屋中	2校
R 2	西条小・三ツ城小	2校	黒瀬中・中央中	2校	八本松中・高屋中	2校
R 3	西条小・三ツ城小・川上小	3校	黒瀬中・中央中・西条中	3校	八本松中・高屋中	2校
R 4	西条小・三ツ城小・川上小 高屋西小・中黒瀬小	5校	黒瀬中・中央中・西条中	3校	八本松中・高屋中 向陽中・高美が丘中	4校
R 5	西条小・三ツ城小・川上小 高屋西小・中黒瀬小 龍王小	6校	黒瀬中・中央中・西条中 八本松中	4校	高屋中・向陽中 高美が丘中・磯松中	4校
R 6 (予定)	西条小・三ツ城小・川上小 高屋西小・中黒瀬小 龍王小・八本松小	7校	黒瀬中・中央中・西条中 八本松中・松賀中	5校	高屋中・向陽中 高美が丘中・磯松中	4校

○不登校児童生徒数及び校内特別支援教室の利用児童生徒数

		R 2	R 3	R 4	R 5 (10月末)
不登校児童生徒数	小学校	77人	105人	163人	132人
	中学校	135人	202人	283人	249人
	計	212人	307人	446人	381人
校内特別支援教室 利用児童生徒数	小学校	28人	46人	79人	54人
	中学校	28人	72人	63人	64人
	計	56人	118人	142人	118人

※ 「校内特別支援教室利用児童生徒数」とは、一度でも利用したことのある児童生徒数をいう。

【新】② 不登校等支援員の配置（14,225千円）

不登校等児童生徒に対して個別の支援を行い、不登校等児童生徒の状況を改善するため、小中学校の校内特別支援教室に不登校等支援員を配置する。

【配置数】

不登校等支援員の配置：5人

事業の概要

③ 心のサポーターの配置（24,900 千円（前年度 26,690 千円））

児童生徒、保護者及び教職員の抱える悩みへの相談など教育相談体制の充実を図るために、小中学校に心のサポーターを配置する。

【活動指標】

心のサポーターの配置：小学校 10,660 時間
中学校 8,920 時間

○心のサポーターの配置校数

		1 週あたりの勤務日数	校数
R 6 (予定)	小学校	隔週 1 日～毎週 1 日 (各日 4 時間)	25 校
	中学校	毎週 2 日～3 日 (各日 4 時間)	9 校
	小・中 S S R 設置校	毎週 5 日 (各日 6 時間)	12 校

④ スクールソーシャルワーカーの派遣（11,858 千円（前年度 11,858 千円））

学校・家庭・関係機関等のネットワークを構築し、児童生徒の自立に向けた支援を行うために、スクールソーシャルワーカーを派遣する。

【活動指標】

スクールソーシャルワーカーの派遣：2,862 時間

○スクールソーシャルワーカーの配置状況

	市（派遣型）	県（配置型）	
	配置人数	配置人数	配置校
R 2	5 人	3 人	八本松中・高屋中・黒瀬中
R 3	5 人	3 人	八本松中・高屋中・黒瀬中
R 4	6 人	4 人	八本松中・高屋中・黒瀬中・松賀中
R 5	5 人	6 人	八本松中・高屋中・黒瀬中・松賀中 高美が丘中・磯松中
R 6 (予定)	5 人	6 人	八本松中・高屋中・黒瀬中・松賀中 高美が丘中・磯松中

※ 県のスクールソーシャルワーカーは配置型で、配置校の中学校区を担当している。今後、全ての中学校区に配置できるように継続的に県教育委員会に要望する。

※ 市のSSWは派遣型で、学校だけでは解決が困難なケースの場合に、必要に応じて市から学校に派遣している。今後、支援の状況等に応じて、計画的に派遣時間を拡充する。

○市スクールソーシャルワーカーの活動実績

	連携回数	連携時間	対象者数 (実人数)	対象者数 (延べ数)
R 2	1,592 回	1,431 時間	106 人	2,258 人
R 3	3,010 回	2,239 時間	114 人	3,821 人
R 4	2,350 回	2,296 時間	117 人	3,202 人
R 5 (12 月時点)	1,087 回	1,697 時間	92 人	1,637 人

⑤ 校外教育支援センターの設置（11,400 千円（前年度 11,170 千円））


不登校等児童生徒の社会的自立を支援するために、学習指導や体験活動を行う校外教育支援センター（フレンドスペース）を設置する。

【設置数】

校外教育支援センターの設置：3 地域（西条・黒瀬・豊栄）

事業の概要

- ⑥ スクールガード・リーダーの派遣（507千円（前年度496千円））
学校の防犯や非行防止に関する取組の充実を図るために、小中学校にスクールガード・リーダーを派遣する。
【活動指標】
スクールガード・リーダーの派遣：48回
- ⑦ 学校安全ボランティアの配置（185千円（前年度190千円））
児童生徒の通学の安全を高めるために、登録した学校安全ボランティアに見守りを依頼する。
【活動指標】
学校安全ボランティアの登録：約14,000人
- ⑧ 生徒指導教育研究実践校の指定（371千円（前年度464千円））
学校における生徒指導に係る取組の充実を図るために、生徒指導教育研究実践校を指定する。
【活動指標】
生徒指導教育研究実践校の指定：1校
- ⑨ 生徒指導主事等研修の実施（86千円（前年度103千円））
生徒指導上の諸課題の未然防止及び対応に係る研修を通して、生徒指導主事等としての資質・能力の向上を図る。
【活動指標】
生徒指導主事等研修の実施：1回
- ⑩ いじめ防止に向けた取組の支援（1,059千円（前年度1,059千円））
各小中学校におけるいじめ防止に向けた児童生徒による主体的な活動やいじめの再発防止に係る取組を支援する。
【活動指標】
いじめ防止に向けた取組の支援：20校
- ⑪ 生徒指導アドバイザーの配置（3,193千円（前年度2,524千円））
いじめ、暴力行為、不登校など生徒指導上の諸課題が複雑化、多様化し、学校への支援や保護者及び関係機関等との連携が急増していることなどから、市全体の生徒指導体制の充実を図るために、指導課に生徒指導アドバイザーを配置する。
【配置数】
生徒指導アドバイザーの配置：1人

事業の概要				
戦略	2	安全・安心に過ごせる児童生徒の居場所づくり	予算 12,968 千円	前年度 10,945 千円
事務事業	2-1	青少年健全育成事業	予算 10,867 千円	前年度 8,036 千円
内容				
2-1_青少年健全育成を支える環境づくり				
① 青少年健全育成活動の充実 (4,298 千円 (前年度 1,839 千円))				
ア 児童厚生員の配置 (うち 2,807 千円)				
保育士資格を持つ児童厚生員が、育児や保護者自身の悩み等の相談に対応する。				
相談日時：週 5 日 10：30～12：00 13：00～16：30				
【活動指標】				
相談者数：乳幼児の保護者のべ 250 人				
イ 児童生徒等の異年齢集団による活動 (うち 1,491 千円)				
(7) 青少年の放課後活動・交流の推進 (うち 1,410 千円)				
ゆーすふるチャレンジャーや、高校生が様々な体験を通して自己成長を図る「体験の場」などの事業を統一的に実施する。イベントの企画などを通して「経験に応じた役割を与えられる活動の場」を提供するほか、学校を超えた関係づくりと効果的な情報提供のため、参加者同士を繋ぐネットワークを構築する。				
【活動指標】				
体験の場アドバンス (対象：高校生)：8 回				
ゆーすふるチャレンジャー デイキャンプ小学生の参加者数：30 人				
※ゆーすふるチャレンジャー				
中学生から 24 歳以下の青少年で構成するボランティアグループで、小学生等を対象とした行事などを企画・運営し、異年齢交流を通してメンバーの自己成長を促す事業。				
(イ) 親子わくわく講座開催 (うち 81 千円)				
親子や保護者同士のふれあいを深めることを目的として、月 1 回、ものづくりや体験活動に係る講座を行う。				
【活動指標】				
回数：12 回				
				
親子わくわく講座の様子				

事業の概要

② 地域の安全・安心の推進（2,704 千円（前年度 2,528 千円））

ア 青少年指導員による巡視活動（うち 2,334 千円）

青少年指導員（8 人）が駅前や商業施設等を中心に市内各地域を巡回し、青少年への声かけ活動や補導・指導などの街頭補導活動を行う。

【活動指標】

回数：1,200 回



巡視活動の様子

イ 青少年問題協議会の開催（うち 85 千円）

地方青少年問題協議会法に基づき、会長（市長）ほか委員 16 人で構成する東広島市青少年問題協議会を設置し、青少年に係る状況や市の事業等についての意見交換等を行う会議を年 1 回程度開催する。

会長	東広島市長
関係行政機関の職員	東広島市副市長
	東広島市教育委員会教育長
	広島県東広島警察署署長
	広島県西部こども家庭センター所長
学識経験がある者又は 青少年健全育成団体の 関係者	東広島地区保護司会会計
	東広島地区更生保護女性会会長
	東広島市民生委員児童委員協議会会長
	青少年育成東広島市民会議会長
	東広島市社会教育委員会議長
	東広島市 P T A 連合会母親代表委員長
	広島国際大学健康科学部心理学科教授
	東広島市高等学校長会長
	東広島市公立中学校長会長
	東広島市小学校長会長
	東広島市保育連盟会長

③ 児童青少年総合相談室の設置（3,865 千円（前年度 3,669 千円））



保護者等の多様な教育相談のニーズに対応するために、児童青少年総合相談室を設置し、教育相談員やカウンセラーを派遣する。

教育相談員の派遣：週 4 日（水、木、土、日曜日）

10：30～12：00 13：00～16：30

カウンセラーの派遣：週 2 日（火、金曜日）

13：00～16：00

事業の概要				
戦略	2	安全・安心に過ごせる児童生徒の居場所づくり	予算 12,968 千円	前年度 10,945 千円
事務事業	2-2	青少年健全育成団体支援事業	予算 2,101 千円	前年度 2,909 千円
内容				
2-2_青少年健全育成団体の支援				
<p>① 青少年健全育成団体への運営支援（2,101 千円（前年度 2,909 千円））</p> <p>青少年が豊かな創造力と自主性を持った社会の一員となるよう、青少年健全育成の活動団体へ運営支援を行う。</p> <p>ア 青少年育成東広島市民会議（うち 1,210 千円）</p> <p>国・県・市の施策に呼応して次代を担う青少年の非行防止や健全育成を目的として、研修会や講演会、巡回指導、各種啓発活動を行う当該団体に対して助成を行う。</p>				
				
あいさつ・声かけ運動				
<p>イ “社会を明るくする運動” 東広島推進委員会（うち 513 千円）</p> <p>青少年健全育成活動及び更生保護活動によって犯罪の未然防止や罪を犯した人たちの更生に理解を深めることを目的として、各種啓発活動を実施する当該団体に対して助成を行う。</p>				
				
推進大会				
<p>ウ 東広島市女性連合会（うち 360 千円）</p> <p>女性の地位向上とともに、家庭教育青少年問題などの現代的な課題に取り組みとともに、各種啓発活動を実施する当該団体に対して助成を行う。</p>				

事業の概要				
戦略	3	地域学校協働活動の推進と児童の放課後活動の充実	予算 15,239 千円	前年度 18,511 千円
事務事業	3-1	放課後子供教室運営事業	予算 12,934 千円	前年度 15,062 千円

内容

3-1_児童の放課後活動の充実

① 放課後子供教室の実施 (12,934 千円 (前年度 15,062 千円))

地域と学校が連携する地域学校協働活動のもと、幅広い地域住民が参画し、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えるとともに地域の交流を促進する。

また、実施に当たっては参加する児童の社会性や豊かな人間性を育む効果が期待されることから、大学生や高校生の参画による異年齢交流を図る。

【活動指標】

教室数：18 教室

小学校別 放課後子供教室開設状況一覧(R5.11)



番号	学 校 名	放課後子供教室	いきいきとの連携の有無
1	西 条		
2	寺 西		
3	郷 田		
4	板 城		
5	三 永	○	
6	東 西 条	○	○
7	平 岩	○	
8	御 菌 宇	○	○
9	川 上	○	○
10	原		
11	吉 川	○	○
12	八 本 松	○	○
13	志 和	○	○
14	小 谷	○	○
15	高 屋 東	○	○
16	高 屋 西		
17	造 賀		
18	高 美 が 丘	○	○
19	三 ツ 城	○	○
20	板 城 西		
21	上 黒 瀬		
22	乃 美 尾		
23	中 黒 瀬		
24	下 黒 瀬		
25	福 富		
26	豊 栄	○	○
27	河 内	○	○
28	入 野	○	○
29	木 谷	○	○
30	三 津		
31	風 早	○	○
32	龍 王		



ウォークラリー



七夕飾りづくり

事業の概要				
戦略	3	地域学校協働活動の推進と児童の放課後活動の充実	予算 15,239 千円	前年度 18,511 千円
事務事業	3-2	地域学校協働活動推進事業	予算 2,305 千円	前年度 3,449 千円
内容				
3-2_地域学校協働活動の推進				
① 地域学校協働活動体制の構築 (2,305 千円 (前年度 3,449 千円))				
地域と学校をつなぐ地域学校協働活動推進員をコミュニティ・スクール導入校に配置し、地域学校協働活動の企画・連絡調整を行う。				
【活動指標】				
配置校数：8 校増 (全てのコミュニティ・スクール導入校に対し配置)				
【主な地域学校協働活動の内容】				
あいさつ・声かけ・見守り活動、環境美化活動、自生地 of 保全活動、多様な体験学習 (収穫体験・郷土学習・環境教室・防災教室・水辺教室など)				
防災学習 (三津小学校)				
				
平成 30 年豪雨災害について		被災現地見学		

令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	4 新たな価値を創造する人材の育成
施策の将来の目標像	多くの子どもたちが最先端技術に関心を持ち、行政と地域の大学や試験研究機関、企業等が連携し、質の高い学びの機会が提供されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (R1年度)	目標値 (R6年度)
	「授業によって、自ら課題を設定し、その解決に向けて友達と協力し、解決する力を高められている」と回答した児童・生徒の割合	—	80%以上

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 理科系教育分野等の教育内容の充実	主管部局・所属	学校教育部	指導課
関係部局・所属				

3 目指す姿と戦略

目指す姿	世界基準で活躍できる人材育成に根差した教育が学校内外で行われ、児童生徒の理科系教育への興味関心が高まる	現状	理科系教育への関心・意欲が高いとは言えず、理科・算数・数学の高水準学力を維持することが懸念される	
課題	理科系教育の魅力強く感じられるような授業が十分に行えているとは言えない	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	子どもたちの理科系教育分野への興味・関心醸成		中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
		R5	R6	R7(参考値)		
(7) 授業によって、自ら課題を設定し、その解決に向けて友達と協力し、解決する力を高められていると回答する児童生徒の割合	80.1 (R2)	83.0	84.0	85.0	85.0 (R7)	%
(1) 理科の勉強は好きであると回答する児童生徒の割合	82.0 (R1)	84.0	84.5	85.0	85.0 (R7)	%
(4)	()				()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R 年度	当初予算額	決算額	人件費
		一般財源	一般財源	
R 5 年度		6,346		
		5,914		
R 6 年度		6,407		
		5,961		

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	4 新たな価値を創造する人材の育成	① 理科系教育分野等の教育内容の充実

事業の概要			
戦略	1 子どもたちの理科系教育分野への興味・関心醸成	予算 6,407 千円	前年度 6,346 千円
事務事業	1-1 科学の芽育成事業	予算 6,407 千円	前年度 6,346 千円

内容

1-1_児童生徒の科学の芽育成

① 科学の芽育成講座の実施 (5,066 千円 (前年度 5,049 千円))

児童生徒の科学に対する興味・関心を高めるために、大学や企業が有する専門的知識や技術を活用し、出前講座を実施する。

【活動指標】

科学の芽育成講座の実施：70 学級

○科学の芽育成講座の実績

	R 2	R 3	R 4	R 5 (10月末)
小学校	13校26学級	11校24学級	16校38学級	15校33学級
中学校	—	1校1学級	6校23学級	2校4学級
計	13校26学級	12校25学級	22校61学級	17校37学級

② 理科観察実験アシスタントの配置 (1,341 千円 (前年度 1,297 千円))

理科の授業における観察や実験を充実させるために、理科の専門性を有する大学院生等を理科観察実験アシスタントとして小学校に配置する。

【配置数】

理科観察実験アシスタントの配置：8人

令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	4 新たな価値を創造する人材の育成
施策の将来の目標像	多くの子どもたちが最先端技術に関心を持ち、行政と地域の大学や試験研究機関、企業等が連携し、質の高い学びの機会が提供されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (R1年度)	目標値 (R6年度)
	「授業によって、自ら課題を設定し、その解決に向けて友達と協力し、解決する力を高められている」と回答した児童・生徒の割合	-	80%以上

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 子どもの興味・関心及び創造性を伸ばす教育の充実	主管部局・所属	生涯学習部 生涯学習課
関係部局・所属	生涯学習部	文化課	

3 目指す姿と戦略

目指す姿	市内大学・試験研究機関等との連携により、子どもの興味・関心及び創造性を伸ばす教育の充実が図られている	現状	子どもの興味・関心及び創造性を伸ばす教育の提供が十分ではない	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
児童が参加しやすい講座を提供する必要がある。	子どもの興味・関心と創造性を伸ばす講座の充実		中	1
大学、試験研究機関等との連携を強化する必要がある。	創造性豊かな子どもの育成につながる学びの充実		中	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7(参考値)		
(7) どこでも美術館・博物館、芸術体験事業の満足度の割合	85 (R1)		100	100	100	100 (R10)	
(4) 生涯学習パスポートのうち、まなぶちゃんノートの奨励者の割合	27.7 (R4)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	30	32	34	40 (R10)	
(4)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R 5 年度			4,584			
			4,584			
R 6 年度			2,898			
			2,898			

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	4 新たな価値を創造する人材の育成	② 子どもの興味・関心及び創造性を伸ばす教育の充実

事業の概要					
戦略	1 子どもの興味・関心と創造性を伸ばす講座の充実	予算	576 千円	前年度	569 千円
事務事業	1-1 豊かな学び創造事業	予算	576 千円	前年度	569 千円

内容

1-1_豊かな学びの創造(理系・イノベーションの学びの強化)

① 宇宙科学講座(272 千円(前年度 272 千円))

ア 「ひがしひろしまスペースクラブ」の実施

広島大学と連携して宇宙や天体について学ぶ講座を実施する。座学や天体観測等を通して、子どもたちの宇宙科学技術への興味関心を高め、探求心を育むことを目的とする。

- ・対象 小学生
- ・場所 広島大学、東広島天文台ほか

【活動指標】

- ・回数 12 回 (2 クラス×6 回連続講座)



東広島天文台での講座の様子



ひがしひろしまスペースクラブの様子

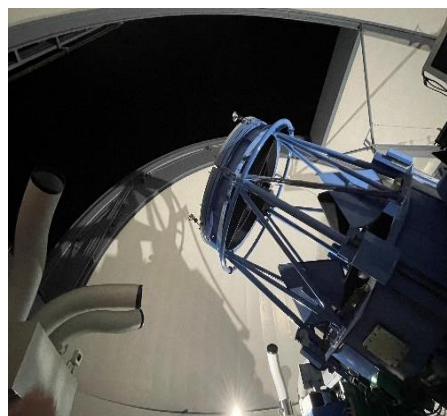
イ 東広島天文台観望会の開催

広島大学と共催し、東広島天文台で“かなた望遠鏡”を活用した天体観測や四次元宇宙シアターの上映など宇宙科学への興味関心を高める観望会を開催する。

- ・対象 小学生以上
- ・場所 東広島天文台

【活動指標】

- ・回数 4 回



東広島天文台 かなた望遠鏡

事業の概要

② 情報科学講座「ひがしひろしま情報みらい塾」の実施

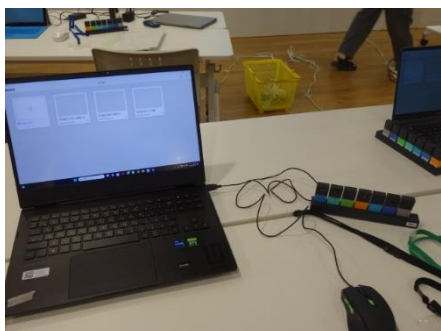
(203 千円(前年度 198 千円))

大学や研究機関の知見を活用し、プログラミングなどの技術を通して、子どもたちの創造力や論理的思考力を養い、情報科学に興味関心を高める講座を実施する。

・対象 小学生

【活動指標】

・回数 3回



「ひがしひろしま情報みらい塾」

③ 理系・イノベーション講座(101 千円(前年度 99 千円))

日常生活の中で、理系分野の学問がどのように活用され、生活を豊かにしているかなど、理系分野への興味関心を高める講座を実施する。

・対象 小・中学生

【活動指標】

・回数 50回 (主催講座での実施も含む)



「身近なものから・・・物理の世界へようこそ！
どうやったらつよくなる？」講座



「みて、きいて、まぜてみて?!ふしぎ発見講座」で体験

事業の概要				
戦略	2	創造性豊かな子供の育成につながる学びの充実	予算 2,322 千円	前年度 4,015 千円
事務事業	2-1	文化芸術体験事業	予算 2,322 千円	前年度 4,015 千円
内容				
2-1_文化芸術体験の振興				
① 文化芸術体験の振興 (2,322 千円 (前年度 4,015 千円))				
ア どこでも美術館 (うち 24 千円) 【事業団委託】				
美術館所蔵作品の図版等を活用した鑑賞教材を用いて、子どもたちが楽しんで作品を鑑賞する機会を提供する。				
【活動指標】				
対象 市内小中学校 : 6 校				
イ どこでも博物館 (うち 31 千円)				
出土文化財や民具等を学校に持参し、見て触ってその質感を体験することで歴史や文化・文化財への興味を醸成する。				
【活動指標】				
対象 市内小中学校 : 6 校				
ウ はじめてビジュツカン (うち 2,267 千円)				
【事業団委託】				
市内の小学生を美術館に招待し、美術作品に触れ、子どもたちの感性を養う機会を設ける。				
【活動指標】				
対象 小学4年生 : 32 校				



アートカードを活用した授業



本物の土器に触れる体験



美術館での作品鑑賞体験

令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	5 知的資源と国際性を活かした人づくり
施策の将来の目標像	大学立地などの地域の特性を活かし、その知見を活かした教育が提供され、国際感覚を備え、高度な専門性を身に付けた人材が数多く育っています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (R1年度)	目標値 (R6年度)
	「外国人と積極的にコミュニケーションを図りたい」と思う児童の割合	73.3%	80%以上
	「外国人と積極的にコミュニケーションを図りたい」と思う生徒の割合	66.8%	70%以上

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 大学・企業等との連携による学びの充実と国際感覚の醸成	主管部局・所属	学校教育部 指導課
関係部局・所属	生活環境部 市民生活課	生涯学習部	生涯学習課
	生涯学習部 文化課		

3 目指す姿と戦略

目指す姿	大学・企業等との連携により市民の学びが深まるとともに、外国に繋がる人との交流が広がり国際感覚が醸成される	現状	研究資源や高い専門性を持つ人材が「学び」に十分に活かせておらず、国際感覚の醸成も十分高まっているとは言えない。	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
本市が有する教育資源の効果的な活用及び連携充実に資する関係部局の協働体制が十分とは言えない	大学等研究機関や各種教育機関・企業と連携した教員研修及び学校の学び充実		高	1
関係機関と連携した国際交流機会を計画的かつ効率的に創出することが十分とは言えない	国際感覚の醸成		中	2
大学や試験研究機関と連携した講座の充実が図られていない	大学や試験研究機関等と連携した豊かな学びにつながる講座の充実		低	3

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7(参考値)		
(7) 各種主催講座等の受講により、コミュニティ活動に取り組んで行こうとする人の割合	80 (R1)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	85	86	87	90 (R10)	%
(4) 「外国人と積極的にコミュニケーションを図りたい」と思う児童・生徒の割合	70 (R1)		74	75	76	76 (R7)	%
(7) 埋蔵文化財へ興味・関心を持ったと回答した小学生・保護者の割合	90 (R1)		94	100	100	100 (R10)	%



5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R5年度			2,814			
			2,814			
R6年度			3,183			
			3,183			

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	5 知的資源と国際性を活かした人づくり	① 大学・企業等との連携による学びの充実と国際感覚の醸成

事業の概要					
戦略	1	大学等研究機関や各種教育機関・企業と連携した教員研修及び学校の学び充実	予算	741 千円	前年度 724 千円
事務事業	1-1	未来創造キャリア形成事業	予算	476 千円	前年度 562 千円
内容					
1-1_未来創造及びキャリアの形成					
① 中学生職場体験学習の実施（476 千円（前年度 562 千円）） 働くことの意義を理解し、主体的に進路を決定しようとする意欲をもたせるために、中学校 2 年生を対象に職場体験学習を実施する。					
【活動指標】					
中学生職場体験学習の実施：1 4 校					

事業の概要					
戦略	1	大学等研究機関や各種教育機関・企業と連携した教員研修及び学校の学び充実	予算	741 千円	前年度 724 千円
事務事業	1-2	歴史体験事業	予算	265 千円	前年度 162 千円
内容					
1-2_歴史の体験					
① 「親と子の体験歴史村」講座の実施（265 千円（前年度 162 千円）） 勾玉作りや火おこし等、親子で古代の人々の生活体験をすることで、埋蔵文化財への興味と関心を高める。					
・対象 市内小学 4～6 年生とその保護者（15 組 30 人）					
【活動指標】					
・回数 2 回					
					
火おこし体験の様子			勾玉作りの様子		

事業の概要						
戦略	2	国際感覚の醸成	予算	1,621千円	前年度	1,261千円
事務事業	2-1	グローバルマインド育成事業	予算	1,561千円	前年度	1,209千円
内容						
2-1_グローバルマインドの育成						
【拡】① 外国語活動協力者の派遣（1,561千円（前年度1,209千円））						
児童のグローバルマインドの涵養を図るために、小学校外国語活動の授業へ外国人の留学生等を派遣する。						
【活動指標】						
外国語活動協力者の派遣時間：1,020時間（R5年度：790時間）						

事業の概要						
戦略	2	国際感覚の醸成	予算	1,621千円	前年度	1,261千円
事務事業	2-2	国際理解推進事業	予算	60千円	前年度	52千円
内容						
2-2_国際理解の推進						
① JICA 研修事業研修員と市民等との交流の促進（60千円（前年度52千円））						
ア 国際協力研修事業への協力による国際理解の促進						
(ア) JICA「排水処理技術コース」への協力による国際理解の促進						
(イ) JICA 中国が実施する各種研修コースへの協力						
【活動指標】						
協力数 5コース程度/年						
※R4 実績7コース、R5 実績7コース（見込）						

事業の概要						
戦略	3	大学や試験研究機関等と連携した豊かな学びにつながる講座の充実	予算	821 千円	前年度	829 千円
			事務事業	3-1	学びのキャンパス推進事業	予算
内容						

3-1_大学と連携した学びの推進

① 「東広島学」の開催（72 千円（前年度 72 千円））

近畿大学工学部と連携し、市内の各分野で活躍する団体等を講師として、東広島を知り、東広島に愛着を持ってもらう講座を実施する。

【活動指標】

- ・回数 15 回（連続講座）



酒蔵通り観光ガイド体験

② 「学んで輝くひと・まち塾」講座・「サマーカレッジ」の開催

（292 千円（前年度 147 千円））

広島国際大学と連携し、大学の専門的な学術分野の講義を市民に分かりやすく提供する講座を実施する。

【活動指標】

- ・回数 8 回（連続講座）、
サマーカレッジ 1 回



リハビリテーション工学の最先端をのぞいてみよう

③ 「生涯学習サテライトキャンパス講座」の開催

（457 千円（前年度 610 千円））

市内大学の教授等を講師として、専門的な内容を学ぶことができる講座を各地域で開催する。

【活動指標】

- ・回数 18 回



伝統的建造物群保存地区について学ぼう

令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり
施策の将来の目標像	市民が主体となった学習活動が活発になり、生涯にわたってスポーツを楽しめる環境が形成されています。また、東広島市の歴史・文化が伝承され、市民の文化芸術活動が活性化されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (R1年度)	目標値 (R6年度)
	生涯学習の満足度	61.5%	80.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 生涯を通じて地域で学び、活躍できる環境の整備	主管部局・所属	生涯学習部 生涯学習課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	市民自ら生涯を通じて学び、活躍できる環境が整っている	現状	市民が主体的に学び、その成果を活かすことのできる学習環境が整備されていない	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	全ての市民にとって魅力ある図書館を整える必要がある	社会情勢や利用ニーズを踏まえた図書館の環境づくり	中	1
	学びの循環を促す必要がある	豊かな学びへの支援と学びを通じたつながりの推進	中	2
	学びを支える環境づくりが必要	学びを支える環境づくり	中	3

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7(参考値)		
(7) レファレンス件数	7,958 (H30)		6,000	6,500	7,000	8,600 (R10)	件
(1) 生涯学習センター・地域センター等における自主サークル数	664 (H30)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	700	710	720	750 (R10)	団体
(ウ)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	5年度	630,521				
		568,030				
	6年度	761,813				
		622,669				

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり	① 生涯を通じて地域で学び、活躍できる環境の整備

事業の概要			
戦略	1 社会情勢や利用ニーズを踏まえた図書館の環境づくり	予算 510,933 千円	前年度 328,343 千円
事務事業	1-1 図書館管理運営事業	予算 510,933 千円	前年度 328,343 千円

内容

1-1_図書館の管理運営

貸出返却やレファレンス（調査相談）のサービスに加え、地域の情報拠点として市民の課題解決に必要な幅広い資料を収集・整理し、ICTを活用したサービスを提供するとともに、市民と市民、市民と情報など様々なつながりを深める場としての機能の充実を図る。

① 特色ある図書館づくり（174,058 千円）（前年度 4,973 千円）

ア（仮称）西高屋情報ラウンジの開設準備（うち 172,295 千円）

前年度に実施したワークショップの意見を元に備品設置や運営企画の準備を行い、開設する図書館の特色化を図る。

- (ア) ワークショップの学生提案を活かした空間づくり
- (イ) デジタルを活用した多様な学びの環境の提供
- (ウ) ICT を活用した窓口のセルフ化
- (エ) 学生参画の企画運営
- (オ) 学生・ビジネスマン向けの紙と電子のハイブリッド型資料の整備



（仮称）西高屋情報ラウンジ棟（県道側）



交流スペース（手前）・図書館スペース（奥）

【新】イ（仮称）西高屋情報ラウンジの運営（うち 1,763 千円）

開設日：令和7年3月中旬予定

運用の特徴：館内図書資料は閲覧のみ（貸出は予約受取ロッカーを利用）

学生による展示・イベントの実施

他機関と連携した共読の機会の提供

予約資料受取ロッカーでの24時間受取

タブレット端末の館内貸出と電子雑誌最新号の閲覧

事業の概要

② 図書館の管理運営（336,875 千円）（前年度 321,720 千円）

ア 指定管理者による管理運営（うち 336, 875 千円）

【対象】

市立図書館全7施設：中央図書館(移動図書館、電子図書館、志和アグリ図書館)、サンスクエア児童青少年図書館、黒瀬図書館(移動図書館)、福富図書館、豊栄図書館、河内こども図書館、安芸津図書館

【活動指標】

レファレンス協同データベース※での事例一般公開件数 25 件



The screenshot shows the 'レファレンス協同データベース' (Collaborative Reference Database) website. The page title is 'レファレンス事例詳細 (Detail of reference example)'. The URL is https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000314309. The main content is a table with the following information:

提供館 (Library)	東広島市立中央図書館 (2300067)	管理番号 (Control number)	0149
事例作成日 (Creation date)	登録日時 (Registration date)	2022年03月30日 11時12分	更新日時 (Last update)
			2023年03月30日 14時56分
質問 (Question)	賀茂台地の民話をもとに広島大学生が作成した本が図書館にあると聞いた。どの図書館にあるか。		
回答 (Answer)	<p>賀茂広域行政組合が発行している「絵本賀茂台地むかし話」というシリーズがある。</p> <p>『賀茂台地むかし話』（1996年3月発行）の冊子を、広島大学の先生、学生の協力のもと、子どもでも読める絵本にして発行したもの。</p> <p>①かっぱのおんがえし（木村裕美／文と絵 1998年3月） ②ふしぎななつき（島谷あゆみ／文と絵 1998年3月） ③法事のつかい（本山 和寿／文と絵 1998年3月） ④かめとあぶとさるのおんがえし（永山 良子／文と絵 1998年3月） ⑤のろ山のきつね（八田 奈美／文と絵 1998年3月） ⑥こうせんじのりゅう（羽田野 めぐみ／文と絵 1998年3月）</p>		

出典：国立国会図書館ウェブサイト https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000314309




※ レファレンス協同データベースは、国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築している調べもののためのデータベース。レファレンス事例などのデータを蓄積し、インターネットを通じて提供している。



レファレンスカウンター



ホームページでのサービス紹介

事業の概要				
戦略	2	豊かな学びへの支援と学びを通じたつながりの推進	予算 86,473 千円	前年度 84,733 千円
事務事業	2-1	生涯学習活動推進事業	予算 86,473 千円	前年度 84,733 千円
内容				
2-1_生涯学習活動の推進				
<p>学びの弱点分野を強化し、地域や世代ごとの特化した戦略を推進することによって、学びから実践の好循環につなげる。</p> <p>① 戦略的弱点強化（789 千円（前年度 1,727 千円））</p> <p>ア ひとつづくり（うち 528 千円）</p> <p>(ア)「親の力」をまなびあう学習プログラム等の開催（うち 293 千円）</p> <p>保護者をはじめ、あらゆる人がそれぞれの立場で「子育て力」を身につける。</p> <p>【活動指標】</p> <p>講座の回数 40 回</p>				
				
			「親の力」をまなびあう学習プログラム	
<p>(イ)ブックデビュー推進講座等の開催（うち 235 千円）</p> <p>妊娠期からのことばがけの大切さや親子のコミュニケーションの重要性を伝える。</p> <p>【活動指標】</p> <p>講座の回数 40 回</p>				
				
			ブックデビュー推進講座	
<p>イ 主体的教育（うち 261 千円）</p> <p>(ア)ボランティア活動の推進（うち 187 千円）</p> <p>ボランティア活動の推進とともに、多様なボランティア活動への理解とネットワークの強化を図り、市民参画によるまちづくりへの発展等を図る。</p> <p>【活動指標】</p> <p>ボランティア交流会参加者数 50 人</p>				
<p>(イ)市民企画講座の実施（うち 74 千円）</p> <p>市民の学習意欲の向上及び地域への普及が期待される企画講座を募集し、企画者が主体となって講座を実施できるよう運営支援を行う。</p> <p>【活動指標】</p> <p>企画講座の支援件数 3 件</p>				
				
			市民企画講座	

事業の概要

(ウ) 東広島熟年マイスター教育講座の開催

人生 100 年時代の到来により、65 歳以上の市民を対象に、現代的な課題や健康・スポーツ、地域共生等テーマごとに講座を開催する。

【活動指標】

講座の回数 30 回

(イ) 広大マスターズ市民講座の開催

広島大学マスターズと連携し、その知的資源を活用して市民の高度で多様なニーズに応える生涯学習の機会を提供する。

【活動指標】

講座の回数 20 回

② 世代の学びの弱点強化 (2,298 千円 (前年度 1,949 千円))

ア 生涯学習パスポートの活用 (うち 2,298 千円)

(ア) 【大人版】生涯学習パスポート

自らの生涯学習を記録することで、市民の学習意欲の向上や学習成果の活用につなげることを目的に高校生以上を対象に発行する。

(イ) 【子ども版】まなぶちゃんノート、ジュニアパスポート

学んだことを急に実践することは難しいため、まず子どもの時に、様々な体験をし、体験の中で、自分が主体的に学び続けることができるものを見つけるために、まなぶちゃんノート (小学生用)、ジュニアパスポート (中学生用) を発行する。

③ 地域課題の弱点強化 (75,136 千円 (前年度 69,232 千円))

ア 集合型オンライン講座 (うち 195 千円)

集会所等で、DX を活用しオンラインと対面で学ぶハイブリッド講座を展開する。スポーツや文化芸術等の講座も組み入れ、学びの機会を広げる取組みを行いながら生涯学習を推進する。



集合型オンライン講座

【活動指標】

オンライン講座の回数 4 回

イ 主催講座の開催 (うち 21,092 千円)

生涯学習 (支援) センター及び地域センター等において地域で抱える課題を解決するための学習機会として講座を開催する。

【活動指標】

主催講座の回数 3,000 回



主催講座

事業の概要

ウ 出前講座の実施（うち 299 千円）

市民団体の求めに応じて、市または協力機関（公的機関・団体）の職員等が講師となり地域へ出向いて講座を実施する。

【活動指標】

出前講座の回数 250 回

エ 講座サークルガイドブックの発行（うち 990 千円）

講座、イベントなど様々な生涯学習情報を集め、冊子やホームページ等で紹介し、広く市民へ提供する。

【活動指標】

冊子 1 回発行

オ 生涯学習推進員等による学びのコーディネート（うち 51,572 千円）

生涯学習推進員等による生涯学習推進体制を構築し、地域の学びを支援する。

カ 生涯学習センター文化活動振興事業の実施（うち 988 千円）

黒瀬生涯学習センターの施設機能を有効活用し、地域の特徴を踏まえた文化発表及び芸術鑑賞に資する事業を実施する。

④ 人権に関する学習機会の充実（284 千円（前年度 499 千円））

ア 人権講座の開催（うち 214 千円）

人権尊重の理念が日常生活に根付くように多様な学習機会の充実を図る。

【活動指標】

人権講座の回数 55 回

イ 人権教育研修会の開催等（うち 70 千円）

人権教育研修会の開催や県主催の人権教育指導者研修会への参加を促し、指導者の養成及びその資質の向上を図る。

【活動指標】

研修会の開催等 4 回

⑤ 社会教育関係等研修会の開催等（1,232 千円（前年度 2,296 千円））

ア 講座の企画等に必要研修等（うち 932 千円）

社会教育を推進する上で必要な知識・技能等を身に付けるため、県主催の実践的な研修等への参加を促し、専門性のスキルアップを図る。また、関係職員同士のネットワークの構築も図っていく。

【活動指標】

研修会の開催等 14 回

事業の概要

イ 負担金及び補助金（うち 300 千円）

(7) 社会教育関係機関への負担金（うち 300 千円）

広島県公民館連合会等と連携し、研修会等の必要経費を負担する。

⑥ 発表・学びの場（6,734 千円（前年度 6,775 千円））

ア 生涯学習フェスティバルの開催（うち 6,734 千円）

主体的に学習する意欲を高め、学習活動への参画を促進するために、生涯学習活動の成果発表などを全市的な規模で実施する。

【活動指標】


来場者数 8,500 人



開会式



ホールイベント

事業の概要				
戦略	3 学びを支える環境づくり	予算	164,407 千円	前年度 217,445 千円
事務事業	3-1 生涯学習施設管理運営事業	予算	164,407 千円	前年度 217,445 千円
内容				
<p>3-1_生涯学習施設の管理運営</p> <p>黒瀬生涯学習センター、豊栄生涯学習センター、安芸津生涯学習センター、創作村、視聴覚ライブラリー、天文台広場、市民文化センター（指定管理）の管理運営を行う。</p> <p>① 施設の管理運営（164,407 千円）</p> <p>ア 長寿命化改修工事設計（うち 6,600 千円）</p> <p>黒瀬生涯学習センターの長寿命化改修工事設計業務委託を行う。</p> <p>主な改修内容：トイレ洋式化、屋根外壁防水、照明設備 LED 化など</p> <p>スケジュール：R5～R6 改修設計 (2 か年計 11,000 千円) R7～R8 改修工事予定</p>				
				

令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり
施策の将来の目標像	市民が主体となった学習活動が活発になり、生涯にわたってスポーツを楽しめる環境が形成されています。また、東広島市の歴史・文化が伝承され、市民の文化芸術活動が活性化されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (R1年度)	目標値 (R6年度)
	生涯学習の満足度	61.5%	80.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 芸術文化活動の活性化と歴史・文化の伝承	主管部局・所属	生涯学習部 文化課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	東広島市の歴史・文化が伝承され、市民の文化芸術活動が活性化	現状	芸術文化関連施設及び文化財関連イベント等の利用者が低迷している。	
課題		仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
文化芸術の魅力に触れる機会の提供を増やす必要がある。		芸術文化活動の活性化と創造	中	1
文化財に対する保護意識の高揚と公開の環境を整える必要がある。		文化財の保護と活用	中	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7(参考値)		
(7) 芸術施設(くらら、美術館)の若年層年間利用者数	32,217 (R4)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	33,600	35,100	36,600	41,000 (R10)	人
(4) 博物館等施設の利用者満足度	82 (R4)		83	85	86	90 (R10)	%
(5) どこでも美術館・博物館、ユニークベニュー等により地域の文化芸術をつなげる事業の年間実施数	37 (R4)		40	43	47	57 (R10)	回

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R5年度			632,666			
			518,804			
R6年度			618,691			
			558,214			

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり	② 芸術文化活動の活性化と歴史・文化の伝承

事業の概要			
戦略	1 芸術文化活動の活性化と創造	予算 536,987 千円	前年度 547,332 千円
事務事業	1-1 芸術文化振興事業	予算 296,129 千円	前年度 310,962 千円

内容

1-1_芸術文化の振興

① 芸術文化ホールの管理（285,605 千円（前年度 299,865 千円））

ア 指定管理による芸術文化ホールの管理運営（うち 250,185 千円）

基本理念に基づき、市民の芸術文化活動の拠点として、管理運営を実施する。

(ア) 「ふれる」（鑑賞・普及事業）

- ・市制施行 50 周年記念として交響楽団コンサート及びポップス系アーティストによる鑑賞事業の実施

(イ) 「そだてる」（育成・交流事業）

- ・くららダンスの日による市内のダンス活動団体の育成
- ・ひがしひろしま音楽祭による音楽活動団体の育成

【活動指標】

くららダンスの日の参加団体数 10 団体

(ウ) 「つくる」（創造・発信事業）

- ・ジュニアオーケストラ事業の実施
- ・市民参加による舞台創造事業（オペラ）の実施

(エ) 「つなげる」（連携・情報事業）

- ・アーティストバンクやくららを利用するサークル等の情報発信
- ・市立美術館等の文化施設との連携

イ 芸術文化ホールの保全・修繕（うち 35,420 千円）

長寿命化計画に基づき、耐用年数を迎えた舞台機器（照明・音響）の修繕を行う。

② 地域芸術の育成（10,524 千円（前年度 11,097 千円））

ア 芸術文化活動の支援（うち 3,320 千円）

市民が主体的に行う各種文化事業の後援を行うとともに、東広島市文化連盟など活動団体等に助成を行う。

【活動指標】

芸術文化活動の支援 後援件数 130 回



芸術文化ホール(大ホール)



市民ミュージカル

イ 芸術文化活動の推進（うち7,204千円）

けんみん文化祭を開催し、市内芸術文化団体の発表の機会を提供する。また、芸術文化活動の推進について、アーツコンシェルジュによる相談業務を行い、市民の芸術文化活動の発表の場を創出することをサポートする。

(ア) けんみん文化祭地区フェスティバルの開催

東広島文化連盟と連携し、市内芸術文化団体や個人による舞台芸術や伝統芸能等、様々な表現活動の発表の機会を提供する。

- ・開催予定 令和6年11月2日(土) 東広島芸術文化ホール

(イ) けんみん文化祭分野別フェスティバルの開催

県内各地域から推薦された芸術文化団体及び個人が特定の分野について発表する催しを開催する。

- ・開催予定 令和6年9月8日(日) 豊栄生涯学習センター

(ウ) 東広島アーツコンシェルジュ

芸術文化ホールくらら内に「東広島アーツコンシェルジュ」を設置し、芸術文化活動の相談を受け付け、芸術文化団体の運営上の課題解決等、様々な相談に対応し、市内芸術文化団体の育成、活性化に向けて支援を行う。

【活動指標】





コンシェルジュ業務相談 相談件数 100件



けんみん文化祭地区別フェスティバル



アーツコンシェルジュの活動

事業の概要				
戦略	1	芸術文化活動の活性化と創造	予算 536,987 千円	前年度 547,332 千円
事務事業	1-2	美術館管理運営事業	予算 240,858 千円	前年度 236,370 千円
内容				
1-2_美術館の管理運営				
① 美術館の管理運営 (240,858 千円 (前年度 236,370 千円))				
ア 指定管理による美術館の管理運営 (うち 183,698 千円)				
指定管理により、美術館の維持管理及び常設展、企画展の運営を行う。				
(7) 特別企画展(市制 50 周年記念)の開催				
(うち 54,021 千円)				
a ヨハネ・パウロ 2 世美術館展(うち 23,634 千円)				
ワルシャワにあるヨハネ・パウロ 2 世美術館のコレクションから、レンブラントやゴヤなどルネサンス以降の西洋絵画を展示する。				
会期：令和 6 年 4 月 9 日～6 月 9 日 (予定)				
				
ヨハネ・パウロ 2 世美術館展				
b 日本刀の美 - 広島刀剣 - (仮称) (うち 11,965 千円)				
八本松町大山峠を拠点にした中世の刀工・大山住宗重の刀剣をはじめ広島県内の刀剣を中心とした日本刀の美を現代刀工の作品と交えながら紹介する。				
				
会期：令和 6 年 10 月 15 日～12 月 1 日 (予定)				
日本刀の美(仮称)				
c 東広島の過去・現在・未来 (仮称) (うち 18,422 千円)				
東広島の歴史と文化を「過去・現在・未来」の 3 つのテーマで捉え、美術家と市民による共同制作を実施し、完成した作品を美術館に展示するとともに、本市ゆかりの作品の展示を行う。				
会期：令和 7 年 2 月 7 日～3 月 23 日 (予定)				
				
東広島の過去・現在・未来展 (仮称)				
(イ) 市民美術ウィーク (市美展等) の開催 (うち 8,041 千円)				
市民美術ウィークとして東広島市美術展の開催や美術館以外の場所で作品展示を行う。				
【活動指標】				
東広島市美術展の応募数				
一般部門 200 点・ジュニア部門 1,000 点				
				
市美展の展示状況				

事業の概要

(ウ) 絵本原画展（うち 7,847 千円）

絵本原画作品等を紹介するとともに、読み聞かせやワークショップを実施する。

会期：令和 6 年 7 月 30 日～9 月 29 日
（予定）



(イ) コレクション展（うち 11,085 千円）

展覧会毎にテーマを定め、美術館所蔵の作品をそのテーマに沿って選定し、紹介する。（4 回実施予定）



(オ) 指定管理による美術館の維持管理

（うち 102,704 千円）

指定管理により、美術館の維持管理を行う。

イ 美術館の運営（うち 37,017 千円）

(ア) 学芸業務（うち 36,180 千円）【事業団委託】

美術館の各展覧会等の運営及び作品収集（購入、寄贈・寄託）、所蔵作品の調査研究を行う。

(イ) 美術館管理（うち 837 千円）



美術館協議会等を開催する。

ウ 芸術文化振興基金への積立（うち 10,143 千円）

芸術文化振興基金へ元金及び利子を積み立てる。

エ 美術品購入（うち 10,000 千円）

美術館で収集する作品を購入する。

事業の概要				
戦略	2	文化財の保護と活用	予算 81,704 千円	前年度 85,334 千円
事務事業	2-1	文化財保存活用事業	予算 28,536 千円	前年度 31,756 千円
内容				
2-1_文化財の保存及び活用				
① 文化財の保護 (3,104 千円 (前年度 4,871 千円))				
ア 西条酒蔵通り地区の保全 (うち 983 千円)				
(7) 伝統的建造物群保存地区推進				
西条酒蔵通り地区の伝統的建造物群保存地区の決定に向けて、随時説明会を実施し、シンポジウム、広報誌等も活用しながら住民等の合意形成を図る。				
【活動指標】				
住民への広報・周知のための通信「まちなみ物語」の配布 6回				
				
【新】(イ) 伝建推進シンポジウムの開催				
西条酒蔵通り地区の伝統的建造物群保存地区決定に向けて、町並みの活用をテーマとしたシンポジウムを開催する。				
イ 文化財保存活用地域計画の策定 (うち 997 千円)				
文化財 (指定・未指定を問わず) を総合的に把握し、まちづくりに活かしつつ、文化財継承の担い手を確保し、地域社会総がかりで文化財の保存と活用に取り組むためのマスタープラン兼アクションプランを策定する。				
(7) 文化財保存活用地域計画 (うち 765 千円)				
計 画 名 東広島市文化財保存活用地域計画				
計 画 期 間 令和 7 年度～令和 16 年度				
諮問委員会 歴史文化基本構想策定委員会				
(イ) 歴史文化基本構想策定委員会の開催 (うち 232 千円)				
東広島市文化財保存活用地域計画を策定するため、歴史文化基本構想策定委員会を実施する。				
ウ 文化財の基礎調査 (うち 475 千円)				
市内に所在する各種文化財について悉皆調査を行い、必要な保護の措置が				

事業の概要

とれるよう実態の把握を進める。

令和6年度の予定の調査

- 近代建築
- 社寺建築
- 城館調査



金明山城跡石垣（志和堀）

エ 文化財の指定・登録（うち 649 千円）

文化財の保存活用に関する諮問機関である文化財保護審議会を開催するほか、市内各種文化財のうち、重要なものについて調査・審議を行い、指定・登録の保護措置を行う。



指定候補 米山城跡(志和東)



指定候補 光政寺俳額(白市)

② 文化財の活用と管理（25,432 千円（前年度 26,885 千円））

ア 文化財の公開と活用（うち 7,038 千円）

(ア) 旧木原家住宅・旧石井家住宅等の公開（うち 5,198 千円）

旧木原家住宅、旧石井家住宅などの貴重な文化財の維持管理及び公開活用を実施する。



(イ) 指定文化財・登録有形文化財等の活用（うち 538 千円）

酒蔵や西条・白市等の町家等文化財を活用し、イベントなどユニークベニューとしての利用を図る。

【活動指標】

登録有形文化財を活用したユニークベニューの開催回数 2回



※ ユニークベニューとは

歴史的建造物など、独特の雰囲気を持つ場所を会議・イベント等の会場として活用することにより特別感や地域特性を演出することを目的とするもの。

(ウ) オオサンショウウオの保護と活用（うち 1,302 千円）

国の特別天然記念物オオサンショウウオの希少な繁殖地として知られる豊栄町に設置したオオサンショウウオの宿を活用し、痩せ个体やケガをしたオオサンショウウオを保護するとともに、保護期間中は、貴重なオオサンショウウオを間近で観察できる機会を提供する。



イ 文化財、文化財施設の維持管理（うち 18,394 千円）

(ア) 指定文化財等の環境整備（うち 2,236 千円）

市内に所在する指定等文化財を後世に伝えていくため、所有者と協力し維持管理を行う。

(イ) 文化財、文化財施設等の維持管理（うち 16,158 千円）

文化財及び文化財関連施設等の維持管理を行う。

- ・ 福成寺本堂内厨子及び須弥壇消防設備点検補助
- ・ 竹林寺本堂消防設備点検補助

事業の概要					
戦略	2	文化財の保護と活用	予算	81,704 千円	前年度 85,334 千円
事務事業	2-2	文化財施設等整備事業	予算	3,816 千円	前年度 6,084 千円

内容

2-2_文化財施設等の整備

① 文化財施設等の小修繕 (2,995 千円 (前年度 3,942 千円))

旧木原家住宅や安芸国分寺歴史公園等の文化財関連施設の小修繕等を実施する。



② 文化財説明板等の新設・修繕 (821 千円 (前年度 2,142 千円))

指定・登録文化財の説明板、案内標識の設置及び既設の説明板等の修繕を実施し、見学者等の利便性向上を図る。



事業の概要				
戦略	2	文化財の保護と活用	予算 81,704 千円	前年度 85,334 千円
事務事業	2-3	東広島市史編さん事業	予算 19,761 千円	前年度 19,365 千円
内容				
2-3_東広島市史の編さん				
① 市史編さんに係る資料調査等 (8,197 千円 (前年度 17,467 千円))				
ア 資料の調査及び収集 (うち 7,747 千円)				
<ul style="list-style-type: none"> ・市史編さんに必要な歴史資料の調査及び写真撮影 ・市内外での資料の調査及び収集 				
イ 研究及び広報普及 (うち 450 千円)				
<ul style="list-style-type: none"> ・市史編さんに資するための研究成果の報告 ・成果報告のための広報紙の作成及び配布 				
【活動指標】				
市史編さんだより発行 年 2 回				
② 市史編さん委員会等の開催 (1,963 千円 (前年度 1,898 千円))				
ア 市史編さん委員会の開催 (うち 434 千円)				
編さん方針の審議				
イ 編集部会の開催 (うち 395 千円)				
刊行計画の審議				
専門分野間での編集内容の調整				
ウ 執筆者専門部会の開催 (うち 1,134 千円)				
専門分野ごとに執筆				
【新】③ 市史の刊行 (9,601 千円 (前年度 0 千円))				
ア 市史先行編の刊行				
市制施行 50 周年を記念し、「東広島市史」の先行編として、「酒」と「西条独創教育」をテーマとする書籍を刊行する。(令和 7 年 2 月刊行予定)				



事業の概要				
戦略	2	文化財の保護と活用	予算 81,704 千円	前年度 85,334 千円
事務事業	2-4	埋蔵文化財調査事業	予算 9,108 千円	前年度 9,668 千円

内容

2-4_埋蔵文化財の調査

① 埋蔵文化財の調査（9,108 千円（前年度 9,668 千円））

ア 埋蔵文化財の保存と調整（うち 3,533 千円）

開発等によって、埋蔵文化財（遺跡）が破壊されることを防ぐため、事前にその取扱いについて調査及び指導・助言する。

- ・分布、試掘調査等…市内全域：随時
- ・開発と遺跡保護の調整…市内全域：随時

イ 埋蔵文化財の発掘調査（うち 5,575 千円）

必要に応じて、記録保存のための発掘調査を行い、出土した遺物及び図面・写真等を整理・収蔵し、調査・研究する。

- ・緊急的発掘調査…市内全域：随時
- ・県や大学、民間による発掘調査の監理及び指導・助言…市内全域：随時
- ・出土品等の整理・収蔵、調査・研究：随時



発掘調査の様子



試掘調査の様子

事業の概要					
戦略	2	文化財の保護と活用	予算	81,704 千円	前年度 85,334 千円
事務事業	2-5	出土文化財管理活用事業	予算	20,483 千円	前年度 18,461 千円

内容

2-5_出土文化財の公開活用

① 出土文化財の管理活用 (20,483 千円 (前年度 18,461 千円))

埋蔵文化財(遺跡)の存在の周知に努めるとともに、出土文化財(土器や石器等)を適切に保存・収蔵・管理し、展示や講座等で市民向けに公開・活用を図る。

ア 常設展示・速報展示(うち 2,953 千円)

市が保管する出土文化財を展示・公開する。

【活動指標】

回数 2回

イ 出土文化財企画展示(うち 2,997 千円)

市保管の出土文化財を様々なテーマで調査研究した成果を出土文化財管理センターや芸術文化ホール(市民ギャラリー)において展示する。

【活動指標】

回数 1回

ウ 出土文化財報告会、遺跡の現地見学会開催(うち 2,901 千円)

市内で発掘調査を実施した遺跡の成果を報告する。

【活動指標】

回数 報告会1回、現地見学会は適宜

エ 講師派遣や各種講座、解説等への対応(うち 2,799 千円)

出前講座等へ講師として職員を派遣するとともに、企画展等で展示解説を行う。

オ 出土文化財の情報発信(うち 2,997 千円)

出土文化財の調査成果の情報を広報誌等で発信する。

【活動指標】

広報誌「東ひろしまの遺跡」 年2冊発行

【新】カ 文化財学術専門業務の充実(うち 5,836 千円)【事業団委託】

文化財学術専門職員による埋蔵文化財の発掘や普及活動を行う。



「展示」の様子



「遺跡見学会」の様子

令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり
施策の将来の目標像	市民が主体となった学習活動が活発になり、生涯にわたってスポーツを楽しめる環境が形成されています。また、東広島市の歴史・文化が伝承され、市民の文化芸術活動が活性化されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (R 1 年度)	目標値 (R 6 年度)
	生涯学習の満足度	61.5%	80.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	③ 生涯にわたってスポーツを楽しめる環境の形成	主管部局・所属	生涯学習部 スポーツ振興課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	いつでも・どこでも・誰でも・地域でスポーツができる仕組みがあるまちになっています。	現状	スポーツに興味がある人は多いが、スポーツを習慣としている人の割合が低い。	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
活動機会の提供によるスポーツ活動の習慣化及び指導者の育成が必要である。	スポーツ活動の普及振興	高	1	
スポーツ団体及び個人への活動支援及び競技スポーツの振興が必要である。	スポーツ活動の支援充実	中	2	
市民ニーズに合ったスポーツ施設の整備が必要である。	スポーツ施設等の整備運営	低	3	

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7		
(7) 週に1日以上スポーツする人の割合	35.6 (H29)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	45.0	50.0	55.0	70 (R10)	%
(4) コミュニティ健康運動パートナー・スポーツ推進委員の年間活動実績数	520 (R4)		565	610	655	800 (R10)	回
(7) スポーツ施設の利用者満足度	79 (R4)		81	83	84	90 (R10)	%

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R 5 年度		286,831				
		199,477				
R 6 年度		243,030				
		199,988				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R5 当初予算額	R6 当初予算額
				R5 決算額	R6 決算額
1-1	10・6・1 スポーツ活動活性化事業	スポーツ振興課	3.50	40,540	40,925
2-1	10・6・1 スポーツ活動支援事業	スポーツ振興課	1.50	11,042	11,279
3-1	10・6・2 スポーツ施設整備事業	スポーツ振興課	1.50	59,508	13,275
3-2	10・6・2 スポーツ施設管理運営事業	スポーツ振興課	1.50	175,741	177,551
合計			8.00	286,831	243,030

9-5 事業費の分析（前掲「9-5 年度支出予算概算」・「9-5 年度決算概算」）

9-6 戦略的課題の分析（前掲「9-6 戦略的課題の分析」）

9-7 取組の分析

9-8 取組の分析

9-9 取組の分析

9-10 取組の分析

9-11 取組の分析

9-12 取組の分析

9-13 取組の分析

9-14 取組の分析

9-15 取組の分析

9-16 取組の分析

9-17 取組の分析

9-18 取組の分析

9-19 取組の分析

9-20 取組の分析

9-21 取組の分析

9-22 取組の分析

9-23 取組の分析

9-24 取組の分析

9-25 取組の分析

9-26 取組の分析

9-27 取組の分析

9-28 取組の分析

9-29 取組の分析

9-30 取組の分析

9-31 取組の分析

9-32 取組の分析

9-33 取組の分析

9-34 取組の分析

9-35 取組の分析

9-36 取組の分析

9-37 取組の分析

9-38 取組の分析

9-39 取組の分析

9-40 取組の分析

9-41 取組の分析

9-42 取組の分析

9-43 取組の分析

9-44 取組の分析

9-45 取組の分析

9-46 取組の分析

9-47 取組の分析

9-48 取組の分析

9-49 取組の分析

9-50 取組の分析

9-51 取組の分析

9-52 取組の分析

9-53 取組の分析

9-54 取組の分析

9-55 取組の分析

9-56 取組の分析

9-57 取組の分析

9-58 取組の分析

9-59 取組の分析

9-60 取組の分析

9-61 取組の分析

9-62 取組の分析

9-63 取組の分析

9-64 取組の分析

9-65 取組の分析

9-66 取組の分析

9-67 取組の分析

9-68 取組の分析

9-69 取組の分析

9-70 取組の分析

9-71 取組の分析

9-72 取組の分析

9-73 取組の分析

9-74 取組の分析

9-75 取組の分析

9-76 取組の分析

9-77 取組の分析

9-78 取組の分析

9-79 取組の分析

9-80 取組の分析

9-81 取組の分析

9-82 取組の分析

9-83 取組の分析

9-84 取組の分析

9-85 取組の分析

9-86 取組の分析

9-87 取組の分析

9-88 取組の分析

9-89 取組の分析

9-90 取組の分析

9-91 取組の分析

9-92 取組の分析

9-93 取組の分析

9-94 取組の分析

9-95 取組の分析

9-96 取組の分析

9-97 取組の分析

9-98 取組の分析

9-99 取組の分析

9-100 取組の分析

決算時記載

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり	③ 生涯にわたってスポーツを楽しめる環境の形成

事業の概要				
戦略	1 スポーツ活動の普及振興	予算	40,925 千円	前年度 40,540 千円
事務事業	1-1 スポーツ活動活性化事業	予算	40,925 千円	前年度 40,540 千円

内容

1-1_スポーツ活動の活性化

① スポーツ活動の充実（40,925 千円（前年度 40,540 千円））

ア スポーツ教室等の開催（うち 25,493 千円）

スポーツ教室等の開催、生きがい健康体育大学の運営やスポーツの振興に関する情報提供、用具の貸出業務等を教育文化振興事業団に委託する。

- ・開催期間：通年（4月～3月）
- ・教室数：20 イベント・教室
- ・場 所：東広島運動公園、黒瀬・安芸津B&G海洋センター等

【活動指標】

参加者数延べ7,000人



【ニュースポーツ教室】



【親子水泳教室】

イ 全市域を対象とするスポーツイベントの開催（うち 7,981 千円）

市民のスポーツ振興及び競技力の向上、また健康維持や世代間交流、地域の活性化を図ることを目的に各種スポーツイベントを開催する。

(ア) 市民スポーツ大会（陸上の部及び球技の部）（うち 4,373 千円）

- ・開催日：陸上の部 6月2日（日）・球技の部 9月22日（日）
- ・場 所：東広島運動公園、福富多目的グラウンド及び河内スポーツアリーナ

【活動指標】

小学校区参加率 95%



【陸上の部（みんなでジャンプ）】



【球技の部（ソフトバレーボール）】

事業の概要

(イ) 東ひろしま新春駅伝競走大会（うち 2,801 千円）

- ・開催日：令和 7 年 1 月 1 1 日（土）
 - ・場 所：東広島運動公園陸上競技場発着近隣周回コース
- ※実績（R 5 参加チーム数）：151 チーム



【新春駅伝競走大会】

(ウ) さわやかウオークの日（歩こうDAY）（うち 204 千円）

- ・開催日：1 0 月 2 0 日（日）
 - ・場 所：西条中央公園出発
- ※東広島市ウォーキング協会「東広島スマートウオーク」との共催
※実績（R 5 参加者数）：130 人



【さわやかウオークの日（歩こうDAY）】

【新】(I) 市制 50 周年記念全国巡回ラジオ体操会（うち 575 千円）

市制 50 周年を記念し、全国巡回ラジオ体操を誘致し実施することで、東広島市を全国にPRするとともに、市民のスポーツ活動の普及促進及び健康増進を図る。

- ・開催日：小学校夏季休業期間内開催予定
 - ・場 所：東広島運動公園多目的広場
- ※実績（前回 40 周年記念時）：2,400 人



【全国巡回ラジオ体操会（40 周年時）】

事業の概要

ウ 全国規模の大会実施（ひろしま県央競歩大会の開催）（うち 949 千円）
日本記録も更新されるなど注目度もある本大会を継続して開催することで、広く東広島市をアピールするとともに、本市における競技スポーツの普及振興を図る。

- ・開催日：11月24日（日）
 - ・場 所：東広島運動公園陸上競技場
- ※実績（R5参加者数）：約 280 人



【ひろしま県央競歩大会】

エ 地域単位のスポーツ活動と指導者の育成（うち 4,455 千円）

スポーツ推進委員やコミュニティ健康運動パートナーを育成し、地域で活躍していただくことにより、地域単位のスポーツ活動の充実を図るとともに、小学校区を中心としたウォーキングコースを整備することで、地域でのウォーキングの普及促進を図る。

(ア) スポーツ推進委員の委嘱・育成（うち 3,316 千円）

各地域におけるスポーツの普及、実技指導及び助言を行うスポーツ推進委員を委嘱し、資質向上に向けた研修会を開催する。

- ・任 期：令和6年4月～令和8年3月
- ・委嘱人数：85人（予定）
- ・研修会：市主催研修会（4回）
呉賀茂地区、広島県、中国地区及び全国大会（6回）
- ・協力支援事業：市主催事業（市民スポーツ・新春駅伝等）
県パラスポーツ協会事業

【活動指標】

各小学校区推進委員2人以上



【スポーツ推進委員研修会（救急救命研修）】



【市民スポーツ大会（球技の部 ペタンク競技）】

事業の概要

(イ) コミュニティ健康運動パートナーの育成（うち 874 千円）

地域住民の健康を地域で支える仕組みづくりに向け、コミュニティ健康運動パートナーを育成するとともに、健康寿命の延伸に向けて高齢者が無理なく取り組むことができるスポーツの普及を支援する。

【活動指標】

生きがい健康体育大学修了者：50 人

(ウ) 小学校区設置ウォーキングコース看板整備（うち 263 千円）

小学校区に設置した看板を整備（維持管理）することで、地域単位のスポーツ活動の推進を図る。

【活動指標】

新設モデルコース数 1 コース



【小学校区ウォーキング看板】

オ トップアスリートの活用等によるスポーツの魅力づくり（うち 1,270 千円）

本市を活動拠点とし、地域に根差した活動を行っている企業やトップス広島に加盟しているスポーツ団体によるスポーツ教室等により、スポーツの魅力伝えるとともに、スポーツ活動の活性化を図る。

(ア) トップアスリートのスポーツ教室（うち 1,270 千円）

トップアスリートから直接指導を受け、交流することで、スポーツを始めるきっかけづくりや競技力の向上を図ることを目的とし、プロスポーツ団体等にスポーツ教室事業を委託する。

【活動指標】

スポーツ教室開催数 3 回



【中国電力ライシスによる卓球教室】

事業の概要				
戦略	2	スポーツ活動の支援充実	予算 11,279 千円	前年度 11,042 千円
事務事業	2-1	スポーツ活動支援事業	予算 11,279 千円	前年度 11,042 千円
内容				
2-1_スポーツ活動の支援充実				
① スポーツ団体の育成支援(6,960千円(前年度6,850千円))				
ア 市内スポーツ団体に対する支援(うち6,860千円)				
(7) 東広島市スポーツ協会に団体運営補助金の交付				
・団体育成費：加盟競技団体等(23団体)に対する事業費等				
・地域振興費：加盟地域団体(5団体)に対する事業費等				
・スポ少事業費：スポーツ少年団単位団が実施する大会等事業費				
・事業費：主催事業(トップアスリート招聘、シニア向けスポーツ活動支援等)				
② 競技スポーツの振興(4,319千円(前年度4,192千円))				
ア 全国大会出場者等に対する支援(うち4,260千円)				
(7) 出場奨励金				
全国大会又は国際大会に出場するものに奨励金を交付し、支援することにより、競技力の向上を図ることを目的とする。				
a 全国大会				
交付金額(個人)：10,000円				
交付金額(団体)：5人まで 50,000円				
6人目以降 10,000円×人数(上限150,000円)				
b 国際大会				
交付金額(個人)：20,000円				
交付金額(団体)：5人まで 100,000円				
6人目以降 20,000円×人数(上限300,000円)				
※対象者は、市内に住所を有する者に限る。				
【活動指標】				
a 全国大会				
・個人：177人 ・団体：24団体				
b 国際大会				
・個人：1人 ・団体：1団体				

事業の概要						
戦略	3	スポーツ施設等の整備運営	予算	190,826 千円	前年度	235,249 千円
事務事業	3-1	スポーツ施設整備事業	予算	13,275 千円	前年度	59,508 千円
内容						
3-1_スポーツ施設等の整備運営						
① スポーツ施設の整備 (13,275 千円 (前年度 59,508 千円))						
ア 廃校施設の聖地化・既存施設の特徴化 (うち 12,275 千円)						
統廃合により廃校になった体育館を利活用し、特定の分野に関して市民全体が利用できるよう聖地化し、既存施設の特徴化を行う。						
(ア) 廃校体育施設の聖地化 (うち 10,312 千円)						
小学校体育施設から社会体育施設への用途変更に伴う改修を行う。						
a 「ペタンクの聖地」(仮称) 東志和市民体育館の改修						
b 「卓球の聖地」(仮称) 西志和市民体育館の改修						
c 東志和・西志和市民体育館の看板設置						
(イ) 聖地化に伴う備品整備 (うち 1,963 千円)						
a 屋内ペタンク用品 5セット						
b 卓球台等 5台						
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>「ペタンクの聖地」(仮称) 東志和市民体育館</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「卓球の聖地」(仮称) 西志和市民体育館</p> </div> </div>						

事業の概要					
戦略	3	スポーツ施設等の整備運営	予算	190,826 千円	前年度 235,249 千円
事務事業	3-2	スポーツ施設管理運営事業	予算	177,551 千円	前年度 175,741 千円
内容					
3-2_スポーツ施設等の管理運営					
① スポーツ施設管理運営(177, 551 千円(前年度 175, 741 千円))					
ア スポーツ施設の修繕(うち 4, 659 千円)					
各スポーツ施設において、老朽化した設備等の修繕を行う。					
(ア) 設備修繕：黒瀬屋内プール事務所空調設備修繕					
(イ) 施設修繕：体育館のトイレの洋式化(2カ所)					
イ 指定管理者による管理運営(うち 156, 385 千円)					
施設の配置が広範囲に及ぶことから利用者の利便性に配慮した管理を行うため、指定管理者制度を活用し効率的かつ地域事情に適した管理を行う。					
【指定管理施設 23 カ所】			(指)：指定管理施設		
区分	名称	管理	区分	名称	管理
体育館	豊栄市民体育館		コミュニティ スポーツ 広場	田ロコミュニティスポーツ広場	(指)
	河内スポーツアリーナ	(指)		栴坂コミュニティスポーツ広場	(指)
プール	黒瀬屋内プール	(指)		溝ロコミュニティスポーツ広場	(指)
	安宿区民プール			造賀コミュニティスポーツ広場	(指)
	能良区民プール			杵原上コミュニティスポーツ広場	(指)
グラウンド	八本松市民グラウンド	(指)		杵原下コミュニティスポーツ広場	(指)
	志和市民グラウンド	(指)		上戸野コミュニティスポーツ広場	(指)
	黒瀬市民グラウンド	(指)	清武コミュニティスポーツ広場	(指)	
	黒瀬多目的グラウンド	(指)	河内発祥園コミュニティスポーツ広場	(指)	
	福富多目的グラウンド	(指)	テニスコート	豊栄テニスコート	
	豊栄市民グラウンド		屋内球技場	豊栄屋内球技場	
	豊栄ふれあいグラウンド		キャンプ場	東広島市グリーンスポーツセンター	
	河内市民グラウンド	(指)	海洋 センター	東広島市黒瀬B&G海洋センター	(指)
	河戸区民グラウンド			東広島市安芸津B&G海洋センター	(指)
	入野区民グラウンド	(指)	パーク ゴルフ場	東広島市福富パークゴルフ場	(指)
	安芸津市民グラウンド	(指)		東広島市河内パークゴルフ場	(指)

令和6年度 分野別基盤事業（予算）シート

まちづくり大綱

3 人づくり

内容

<こども未来部>

(1) 幼稚園の管理及び運営

(281,922 千円 (前年度 79,377 千円)) 【10 款 4 項 1 目】

① 幼稚園の運営

- ア 幼稚園の運営に必要な人件費、消耗品及び備品の購入等
- イ 給食材料費物価高騰保護者支援（うち 261 千円）

② 幼稚園の管理

幼稚園の施設や設備を維持管理するための業務委託等

③ 御菌宇幼稚園の認定こども園化（うち 243,128 千円）

御菌宇幼稚園の認定こども園化に係る改修工事

時期	内容
令和5年度	改修設計
令和6年度	改修工事
令和7年4月	開園

(2) 幼児教育の支援（99,091 千円（前年度 304,211 千円））【10 款 4 項 1 目】

① 私立幼稚園への助成（うち 528 千円）

私立幼稚園の円滑な運営及び幼児教育の充実を図るための支援

② 無償化対象者への給付（うち 98,563 千円）

利用料及び預かり保育料等の対象者への給付

<学校教育部>

(1) 小学校の管理（743,972 千円（前年度 829,081 千円））【10 款 2 項 1 目】

① 小学校の運営

小学校に必要な消耗品、備品の購入等

② 小学校の管理

小学校の施設や設備を維持管理するための業務委託等

③ 仮設校舎リース等に係る経費

既設の仮設校舎リース料

(2) 小学校の教材整備（29,004 千円（前年度 27,469 千円））【10 款 2 項 2 目】

授業に必要な教材等の物品購入に係る経費

(3) 中学校の管理（393,268 千円（前年度 360,107 千円））【10 款 3 項 1 目】

① 中学校の運営

中学校に必要な消耗品、備品の購入等

② 中学校の管理

内容

中学校の施設や設備を維持管理するための業務委託等

③ 仮設校舎リース等に係る経費

ア 既設の仮設校舎リース料

イ 松賀中学校駐輪場リース料（うち 4,950 千円）

(4) 中学校の教材整備（20,959 千円（前年度 18,935 千円））【10 款 3 項 2 目】
授業に必要な教材等の物品購入に係る経費

(5) 学校体育施設の市民開放

（17,365 千円（前年度 17,176 千円））【10 款 6 項 2 目】

市内公立の小学校及び中学校の体育施設を、学校教育に支障がない範囲内で、スポーツ・レクリエーション活動を行う市内在住者で構成された団体に開放する。

(6) 学校給食の管理（15,372 千円（前年度 19,312 千円））【10 款 6 項 3 目】

① 給食従事者の健康診断及び学校給食センター内衛生管理検査の実施

（うち 3,350 千円）

【検査内容】 定期健康診断（7～8 月）、腸内細菌検査（毎月 2 回）、
ノロウイルス検査（10～3 月に月 1 回）、
衛生管理検査（年 2 回）

【健康診断対象給食従事者人数】 15 人

② 給食従事者への研修の実施（うち 29 千円）

栄養教諭・学校栄養職員研修会

③ 各小中学校配膳室の物品等の管理（うち 4,608 千円）

④ 学校給食費の公会計に係る諸経費（うち 7,385 千円）

ア 学校給食費管理システム保守管理

小・中学校及び幼稚園の児童・生徒・園児、教職員の約 17,500 人分の給食費決定通知書の印刷や送付、システムの保守管理等

(7) 学校給食センターの運営

（2,137,541 千円（前年度 2,017,997 千円））【10 款 6 項 3 目】

【新】ア 有機野菜活用の試行的取組（うち 900 千円）

地場産物の活用のため、量の確保ができるよう産業部や農家等関係機関と連携し、学校給食における有機野菜の利用促進を図る。

【拡】イ 給食食材価格高騰による給食費の負担増加の抑制（うち 98,523 千円）

① 東広島学校給食センターの運営

② 西条学校給食センターの運営

ア 厨房機器の老朽化に伴う更新（うち 18,722 千円）

22 年以上の使用により故障が頻発している電気フライヤーを更新する。

内容

③ 東広島北部学校給食センターの運営

④ 安芸津学校給食センターの運営

ア 厨房機器等の老朽化に伴う更新（うち 21,780 千円）

導入後 18 年が経過し、生産中止で部品在庫が枯渇し、蒸気漏れ等修理が増えてきた蒸煮冷却機を更新する。また、同じく導入後 18 年が経過し、本体のゆがみや溶接の剥離等、経年劣化した配膳コンテナを更新する。

<生涯学習部>

(1) 二十歳のつどいの開催（5,689 千円（前年度 5,702 千円））【10 款 5 項 1 目】

二十歳を機会に仲間との絆を再認識することにより、東広島市への愛着を育成するため、「二十歳のつどい」を開催する。

【場 所】 運動公園体育館

【開催日】 令和 7 年 1 月 13 日（予定）



会場全景



誓いの言葉

(2) 児童青少年センターの管理

（22,023 千円（前年度 21,018 千円））【10 款 5 項 1 目】

児童青少年が気軽に利用できる「心の居場所」を提供するため、児童青少年センターの管理・運営を行う。

① 児童青少年センターの管理

施設を維持管理するための業務委託等

② 児童青少年センターの運営

運営に必要な人件費、消耗品及び備品の購入